

令和 3 年度 事業報告

• 法人本部	1
• 障害者支援施設航	7
• 金沢地域活動ホームりんごの森	17
• 地域支援センター	31
• 横浜市釜利谷地域ケアプラザ	40
• 横浜市柳町地域ケアプラザ	53

令和3年度 法人本部事業報告

概説

令和3年度は、年度を通して新型コロナウイルス感染症への対応が最優先課題となりました。職員に日常的な感染防止策を取ることを徹底し、法人として独自にワクチン接種を進めるなど、対策に努めてきたところですが、各事業所において頻回に感染者が発生し、その都度、状況に即した対応を迫られました。特に2月以降、航において感染が急激に拡大し、クラスターが発生したことはこれまでに経験したことのない厳しい事態でした。航では全力で対応を図り、3月には一旦収束を迎えることができています。

一方、事業開始から20年の節目を迎え、重要な課題としていた「すみなす会20周年記念誌の制作」及び「法人本部建物の大規模改修」については、着実な取り組みを行い、予定通り完了させています。

人が密集状態となり得るフェスタ等の行事はすべて中止とし、集合形態の職員研修は対象を限定して実施するなど、各事業に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける一年となりました。

1 理事会・評議員会の開催（継続）

（1）理事会

回	実施日	議 題
第1回	令和3年 6月3日	(1)決議事項 第1号議案 令和2年度事業報告及び計算書類等の承認（案） 第2号議案 令和3年度第一次補正予算（案） 第3号議案 修繕積立金及び修繕積立資産の取崩について（案） 第4号議案 評議員候補者の推薦（案） 第5号議案 理事及び監事候補者の推薦（案） 第6号議案 相談役及び顧問候補者の推薦（案） 第7号議案 評議員選任・解任委員の選任（案） 第8号議案 評議員選任・解任委員会の招集（案） 第9号議案 定時評議員会の招集（案） (2)報告事項 ① 理事長及び常務理事の職務執行状況報告について ② 航及び釜利谷地域ケアプラザ大規模改修実施に係る指名競争入札の業者選定結果について
第2回	6月23日	<決議の省略> 第1号議案 社会福祉法人すみなす会理事長及び常務理事の選定（案）
第3回	11月30日	(1)決議事項 第1号議案 令和3年度上半期事業報告（案） 第2号議案 令和3年度第二次補正予算（案）

		第3号議案 規程の改正（案） ・就業規則 ・非常勤職員就業規則 ・給与規程 ・嘱託職員就業規則 ・登録ヘルパー就業規則 ・経理規程 (2) 報告事項 ① 令和3年度障害者支援施設航 指導監査等結果について ② 理事長及び常務理事の職務執行状況報告について
第4回	令和4年 3月23日	(1) 決議事項 第1号議案 令和3年度 第三次補正予算（案） 第2号議案 令和4年度事業計画（案） 第3号議案 令和4年度予算（案） 第4号議案 施設長等の任命（案） 第5号議案 規程の改正（案） ・就業規則 ・嘱託職員就業規則 ・登録ヘルパー就業規則 ・給与規程 ・非常勤職員就業規則 ・育児・介護休業等に関する規則の改正 第6号議案 役員賠償責任保険の契約について（案）

(2) 定時評議員会

回	実施日	議 題
	令和3年 6月23日	(1) 報告事項 令和2年度事業報告 (2) 決議事項 第1号議案 令和2年度計算書類及び財産目録の承認（案） 第2号議案 理事及び監事の選任（案） 第3号議案 相談役及び顧問の選任（案）

(3) 評議員選任・解任委員会

回	実施日	議 題
第1回	令和3年 6月11日	議題 第1号議案 社会福祉法人すみなす会評議員の選任（案）

2 体系的な法人主催研修の実施（継続・拡充）

階層別研修

集合形態の階層別研修は対象者を限定して実施しました。

研 修 名	実 施 日	主 な 内 容	参加者
新任職員研修	令和3年 3月25日 26日	事業説明、法人研修 ・法人の概要 ・組織活動の要点 ・キャリアパスと人事考課制度 ・職場における基本動作とコミュニケーション研修（講師：FlightPlan 岩井昌江氏）	6名

＜中途採用＞ 新任職員研修	令和3年 10月1日 11月1日 12月1日 令和4年 1月4日 2月1日	事業説明、法人研修 ・法人の概要 ・組織活動の要点 ・キャリアパスと人事考課制度 等	6名
新任職員フォロー 研修	令和3年 10月19日	ワークショップ ～半年を振り返り、これからを考えよう～	5名
新任課長補佐研修	令和3年 4月22日	法人研修 ・「課長補佐」に求められるもの ・人事考課制度における役割 ・働きがいのあるチームを作るために	1名
新任副主任研修	令和3年 10月25日	法人研修 ・キャリアパスと人事考課制度 ・チームリーダーとしてのキャリアデザイン ・エンゲージメントについて	4名

3 人材育成体制の充実（継続）

今年度から、人事考課制度の評価結果を処遇に反映する仕組みを導入し、前年度の総合評価結果が良好な職員に対し、夏季に「特別手当」を支給しました。

集合形態の研修は実施を控えましたが、インターネットを使用したオンラインで専門知識習得に活かせる研修については法人として専門業者と契約を継続し、受講可能な環境を維持したことで、活用が拡がりました。

4 情報発信力の強化（継続）

各事業所においてインターネットを活用した情報発信を活性化させています。適正な発信を行うために順守すべき事項を記載した「運用指針」を作成しました。

ホームページについては、掲載内容について事業紹介の動画作成や職員によるブログ発信を行うことで閲覧数が伸びるなど成果が見られており、次年度以降に活かせる取り組みとなりました。

5 「すみなす会 20 周年記念誌」の制作（新規）

前年度から準備を開始し、4月以降、編集委員会を毎月開催し、制作に必要な調整を進めました。本編の主な構成を「これまでの歩み」「すみなす会の現在（いま）」「今後について」とし、「現在（いま）」については、事業所ごとに編集委員を選出し、各事業の日常の様子を掲載するなど、法人全体で記念誌制作に取り組みました。原稿完成後は細部に亘る校正を繰り返し、予定通り 12 月上旬に 1500 部を発行しました。

配布先内訳 (1,241 部)	利用者、家族、職員	894	
	法人関係者	146	理事、監事、評議員、町内会役員 等
	関係機関	201	行政機関、学校、他法人、マスコミ 等

② 接種機関：京浜健診クリニック（小幡進一郎医師：柳町地域ケアプラザ協力医）

	対象者		接種会場
	利用者(名)	職員(名)	
1回目	—	45	京浜健診クリニック
2回目	—	45	

<すみなすフェスタ等の開催>

感染防止の観点からすべての行事を中止としました。

<資料編>

1 法人内 新型コロナウイルス感染者の状況（令和4年3月31日現在）

（1）感染者数（累計）

総数(名)	内 訳	
	利用者(名)	職員(名)
54	24	30

（2）濃厚接触者数（累計）

総数(名)	内 訳	
	利用者(名)	職員(名)
46	25	21

2 新型コロナウイルス対策委員会 開催状況

回	月 日	主 な 検 討 事 項
1	4. 5	・各事業所の現状について ・ワクチン接種の情報共有
2	4.19	・各事業所の現状について ・特措法に基づくまん延防止等重点措置に係る神奈川県実施方針について
3	5.17	・各事業所の現状について
4	6.14	・各事業所の現状について ・ワクチン接種への対応について
5	7.12	・各事業所の現状について ・ワクチン接種への対応について
6	8. 2	・緊急事態宣言への対応について
7	8.19	・各事業所の現状について ・ワクチン接種について ・新型コロナウイルス感染症対応特別休暇について

8	9.13	- 各事業所の現状について - 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金について 「職員が休む（休ませる）場合の対応について
9	2.16	- 法人における感染状況について - 各事業所の現状と課題について - ワクチン接種の準備状況について

3 令和3年度 職員状況

(1) 常勤職員数・嘱託職員数

	年度当初	中途 採用者	退職者	異動		年度末
				転入	転出	
法人事務局	6	0	0	0	0	6
航	53	3	2	0	0	54
りんごの森	34	0	1	0	0	33
地域支援センター	30	0	3	1	0	28
釜利谷地域ケアプラザ	16	2	2	0	0	16
柳町地域ケアプラザ	15	0	2	0	0	13
計	154	5	10	1	0	150

(2) 非常勤職員数

	年度当初	中途 採用者	退職者	異動		年度末
				転入	転出	
法人事務局	1	0	0	0	0	1
航	65	5	3	0	0	67
りんごの森	42	13	13	0	0	42
地域支援センター	57	13	13	0	1	56
釜利谷地域ケアプラザ	59	7	10	0	0	56
柳町地域ケアプラザ	39	15	11	0	0	43
計	263	53	50	0	1	265

*年度当初：4月1日採用者を含む

*退職者：3月31日退職者を含む

令和3年度 航事業報告

概説

令和3年度も引き続き、年間を通し新型コロナウイルス感染防止のため、消毒の徹底や密とならない環境整備に努め、利用者、職員が少しでも安心感が持てるよう事業を進めてきましたが、本年2月に入り、施設内でのクラスターが発生する事態となりました。

航は、金沢区内唯一の障害者入所施設として、地域で暮らす障害のある方とそのご家族にとって短期入所事業などの地域生活の継続を支えるための事業を進めています。しかし、今回のように施設内で感染症が発生することにより、事業を一旦休止せざるを得ない場合もあることから、今後は更に感染防止対策を含む事業継続計画（BCP）の強化に努めるとともに、地域からのニーズに対し、関連する事業所との連携を強化し、「受け止める」「つなぐ」支援を進めていきます。

その他の各事業については、行事の縮小等を行いました。概ね順調に推進することができました。

1 新型コロナウイルス感染症への対応

令和2年度は、基本的感染予防対策の強化により施設内感染の防止が行えましたが、今年度は、オミクロン株に変異したことが原因と思われる施設感染が2月8日から3月4日にかけて、みなし陽性を含めると総勢32名の感染者が発生するクラスターが発生しました。この間（16日間）は、日中活動・短期入所を停止し、各ユニットを横断して勤務する職員が出ないように対策を立て、職員は防護服着用等の感染防止対策を徹底しつつ、必要な事業の継続を行いました。

なお、利用者及び職員へのワクチン接種は、嘱託医の協力により、3月までに終了することができました。

《感染者数》

（ ）内は、みなし陽性者

ユニット	利用者	職員	計
Aユニット	3（9）	10	13（9）
Bユニット	1		1
DEユニット	1（5）	3	4（5）
合計	5（14）	13	18（14）

※検査による陽性：18名（利用者5名・職員13名） みなし陽性：14名（利用者のみ）

2 事業概要

	事業名	定員数（人）	現員数（人）
国事業	施設入所支援事業	50	48
国事業	生活介護事業	60	74（注1）

国事業	生活介護事業（コパン）	20	20（注2）
国事業	短期入所事業	4	4
横浜市事業	日中一時支援事業	若干名	若干名

（注1）1日平均利用者は66.2人。

内訳 ①施設入所利用者：40人、
②グループホーム利用者：18人
③在宅の利用者：16人

（注2）内訳 ①施設入所利用者：8人
②グループホーム利用者：9人
③在宅の利用者：3人

（1）施設入所支援事業（ユニット）

（ ）は前年度

年齢階層 （歳）	利用者（人）			肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分		
	総数	男	女				区分6	区分5	区分4
総数	48	35	13	7	22	15	38 (38)	9 (8)	1 (1)
平均 年齢	44.5 歳						79% (77%)	19% (16%)	2% (6%)

*入所施設利用者の男女比は男性7対女性3の割合です。また、障害の状態は最重度の区分（6と5）の利用者が全体で98%を占め、45%の人が自閉症を重複しています。

*1月に1名グループホームへの地域移行により退所されたため、現員は48名となっています。

（2）生活介護事業（日中活動）

（ ）は前年度

年齢階層	利用者（人）			肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分			
	総数	男	女				区分6	区分5	区分4	区分3
総数	94	62	32	13	45	28	76 (75)	13 (13)	4 (5)	1 (1)
平均 年齢	44.0 歳						80% (79%)	14% (13%)	5% (5%)	1% (1%)

*利用者の男女比は男性65%、女性35%の割合です。障害の状態は最重度（区分6と5）の利用者が全体で94%を占めています。また、重度障害者支援加算対象者は、87%（航93%、コパン65%）となっています。

3 重点項目の実施状況

（1）意思決定支援の推進（継続）

①主にユニットの主任・副主任を中心として、行動障害のある利用者の意思決定をどのように進めていくかについて取り組みを行いました。取り組みに当たっては、利用者の障害特性や嗜好等について確認するためのアセスメントシートを用意して行いました。定期的な振

り返りを行いながら支援に当たりました。

②虐待防止委員会を設置しました。各部署で見過ごされやすい不適切な可能性のある関わりについて、委員会にて意見を出し合い、全職員に向けた虐待防止研修を行いました。

③職員会議内でアセスメント力を高めるための内部研修を実施しました。各部署からの事例を元にして具体的に考える機会を持ちました。また、運営の中核として期待される課長補佐・主任を中心に、個別支援計画を中心とした管理運営・人材育成の視点を持つための階層別研修を実施しました。

（２）高齢化・重度化への対応（継続）

医療的ケアを必要とする利用者が居住している A ユニットの医療的ケア用の水洗場所の設置等を含め、台所から利用者を把握できるようにキッチンのリフォームを行いました。また、老朽化が見られる A、C、F ユニットの脱衣場床の張替えを行い、転倒等の事故防止対策を行いました。

（３）航の中長期目標の振り返り（新規）

職員会議を通した職員全体へ「中長期目標」及び「中長期目標中間見直し」の共有と第 2 期中長期目標作成に向けたワークシートの作成を行いました。

令和 5 年度からの事業展開に向け、地域の障害者やその家族等にとって、航が地域での生活を支える存在であり続けるためにどのような取り組みが必要となるのか、長期的視点に立った計画策定に向けて航全体からの意見・アイデア等の収集を行いました。

（４）安全な利用者送迎のための環境整備（新規）

近年、高齢ドライバーによる送迎事故の報道が増えています。航では、ドライバーに独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）が実施する「適性診断：高齢（65 才以上）の運転者の方対象」を受診する機会を設けました。年齢を重ねることでの運転能力の変化をドライバー自身に客観的に認識してもらうとともに、ドライバーの運転状況の把握、指導、事故防止対策に活用し、送迎業務の安全性向上に努めました。

また、すべての送迎車両にドライブレコーダーを前後に設置、雪道用冬タイヤを用意し、安全な利用者送迎のための環境整備を進めました。

次年度に向けて、飲酒運転防止のためのアルコールチェッカーの導入、非常勤職員ドライバーについては血圧測定の準備を進めました。

4 令和3年度航事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	618,127,400	587,340,633	30,786,767	航日中活動のみ利用者への 重度障害者支援加算による 増
経常経費寄附金収益	50,000	200,000	△ 150,000	
サービス活動収益計(1)	618,177,400	587,540,633	30,636,767	
人件費	441,358,565	421,108,088	20,250,477	常勤職員定期昇給及び常勤 職員増員、特定処遇改善加 算支給による増
事業費	78,472,739	77,172,021	1,300,718	水道光熱費、ガソリン代の 増
事務費	68,468,207	57,001,159	11,467,048	大規模修繕工事
減価償却費	38,128,794	37,794,933	333,861	
国庫補助金取崩額	28,323,714	29,050,963	△ 727,249	
サービス活動費用計(2)	598,104,591	564,025,238	34,079,353	
収支差額(1-2=3)	20,072,809	23,515,395	△ 3,442,586	
サービス活動外収益(4)	8,079,173	10,843,386	△ 2,764,213	
サービス活動外費用(5)	2,908,680	2,988,010	△ 79,330	
サービス活動外増減差額(4-5=6)	5,170,493	7,855,376	△ 2,684,883	
経常増減差額(3+6)	25,243,302	31,370,771	△ 6,127,469	

〈資料編〉

1 実施事業（令和4年3月31日現在）

	事業名	定員数（人）	現員数（人）
国事業	施設入所支援事業	50	48
国事業	生活介護事業	60	74（注1）
国事業	生活介護事業（コパン）	20	20（注2）
国事業	短期入所事業	4	4
横浜市事業	日中一時支援事業	若干名	若干名

（注1）生活介護事業の定員は60人ですが、現員の利用者数は74人。週に2日程度の利用等もあり、1日平均66.7人となっています。

・利用者74人の内訳は、①施設入所利用者が40人、②グループホーム利用者が18人、③在宅の利用者が16人。

（注2）利用者20名の内訳は、①施設入所利用者が8人、②グループホーム利用者が9人、③在宅の利用者が3人。

2 利用者の現況（令和4年3月31日現在）

（1）施設入所支援事業（ユニット）

（ ）は前年度

年齢階層 （歳）	利用者（人）			肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分		
	総数	男	女				区分6	区分5	区分4
10～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	5	5	0	0	5	0	3	1	1
30～39	8	5	3	1	4	2	6	2	0
40～49	18	12	6	3	7	9	14	4	0
50～59	16	12	4	3	6	4	15	1	0
60以上	1	1	0	0	0	0	0	1	0
総数	48	35	13	7	22	15	38 (38)	9 (8)	1 (3)
平均 年齢	44.5歳						79% (77%)	19% (16%)	2% (6%)

＊利用者の平均年齢は44.5歳、前年度は43.5歳

＊利用者の男女比は男性72.9%、女性27.1%

＊入所施設利用者の障害支援区分は、最重度（障害支援区分6及び5）の利用者が全体で98%

＊知的障害に加え、重複して肢体不自由（15%）、自閉症（46%）、発作などの合併症（31%）がある。

(2) 生活介護事業（日中活動）

（ ）は前年度

年齢階層	利用者（人）			肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分			
	総数	男	女				区分6	区分5	区分4	区分3
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	19	11	8	2	11	1	14	2	3	0
30～39	14	10	4	2	9	2	10	4	0	0
40～49	30	20	10	3	14	14	26	4	0	0
50～59	26	18	8	4	11	11	23	1	1	1
60以上	5	3	2	2	0	0	3	2	0	0
総数	94	62	32	13	45	28	76 (75)	13 (13)	4 (5)	1 (1)
平均 年齢	44.0 歳						80% (79%)	14% (13%)	5% (5%)	1% (1%)

*利用者の平均年齢は 44.0 歳、前年度は 42.9 歳

*利用者の男女比は男性65%、女性35%

*生活介護事業利用者の障害支援区分は、最重度（障害支援区分6及び5）の利用者が全体で94%

*重度障害者支援加算対象者については、航で69人（93%）、コパンで13人（65%）となっています。

*知的障害に加え、肢体不自由（13%）、自閉症（45%）、発作（28%）等の合併症があります。

・活動班・在籍者数（生活介護事業）

（航）

活動班名	羅針盤	和海	農耕園芸班	リサイクル班	陶芸班
利用者数	10 人	10 人	10 人	11 人	9 人
活動班名	手工芸班	アクティブ 班	環境整備班	エコファ班	計
利用者数	6 人	11 人	2 人	5 人	74 人

（手織り工房コパン）

活動班名	コパン	アミー	計
利用者数	13 人	7 人	20 人

(3) 短期入所事業

【令和3年度 受入実績】

() は前年度

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
宿泊 人数	27 (11)	29 (7)	22 (2)	29 (17)	27 (15)	25 (25)	
宿泊延 日数	73 (57)	81 (43)	59 (31)	84 (68)	75 (42)	79 (72)	
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊 人数	29 (20)	30 (21)	26 (24)	29 (24)	6 (19)	26 (22)	305人 (207人)
宿泊延 日数	82 (74)	89 (75)	80 (81)	91 (71)	15 (58)	75 (64)	883日 (736日)

※・短期入所事業は、介護者の入院、冠婚葬祭やレスパイト等により利用者の介護ができない場合に、「航」の宿泊・日中活動を短期間利用できる制度で、利用者・家族が在宅生活を継続するために必要なセーフティネットの役割を果たしています

※短期入所事業の利用実績は、2月に新型コロナウイルスクラスターが発生したことにより当該月の減少は見られましたが、前年度と比べて利用希望者が戻りつつあり、前年度比で延べ利用人数98名の増(147%)となりました。また、宿泊延日数では前年度比147日の増(119%)となっています。

※一人当たりの平均利用日数は2.9日

※利用最長日数5日/月、利用最短日数2日

※利用の主な理由

- ・介護者の休息(レスパイト) 約56%
- ・行事、外出、その他
- ・介護者の仕事 約20%
- ・介護力低下 約10%
- ・体験利用 約13%

(4) 日中一時支援事業

【令和3年度 受入実績】

() は前年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4 時間未満	1 (1)	1 (0)	2 (1)	3 (1)	4 (1)	2 (2)	
4 時間～ 8 時間未満	2 (1)	3 (1)	3 (0)	2 (3)	1 (5)	2 (3)	
8 時間以上	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4 時間未満	2 (2)	1 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	0 (2)	21 人 (15 人)
4 時間～ 8 時間未満	1 (2)	2 (2)	4 (3)	1 (3)	0 (1)	0 (3)	21 人 (27 人)
8 時間以上	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 人 (2 人)

＊日中一時支援事業は、宿泊を伴わない日中の時間帯に利用できます。継続して一定の利用ニーズがあります

＊利用の主な理由

- ・介護者の休息（レスパイト） 約 89%
- ・行事、外出、その他
- ・介護者の仕事 約 8%
- ・介護力低下 約 0%
- ・体験利用 約 3%

3. 安全への配慮

①転倒	②誤与薬			③外傷		④所在不明		⑤誤嚥	⑥異食	⑦他害	⑧車両
	急薬	誤与薬	落錠	通院あり	様子観察	施設外	施設内				
8 (17)	5 (11)	11 (8)	4 (5)	17 (11)	2 (3)	3 (2)	3 (2)	0 (1)	0 (3)	6 (2)	5 (3)
20 (24)			19 (14)		6 (4)						
64 件 (68 件)											

①転倒は 8 件（前年度 17 件）で、前年度より 9 件減少しました。

②誤与薬の事故件数は 20 件（前年度 24 件）で、前年度より 4 件減少。与薬時に錠剤を口元等から滑らせて床に落下させてしまう落錠や、排泄状況に応じた下剤の追加等を誤ってしまう急薬が目立ちました。

③外傷件数は19件(前年度14件)で5件増加しました。外傷のうち、同一利用者の転倒等に起因するものが複数見られました。

④所在不明の件数は6件であり、うち3件は、短期入所中の利用者によるものでした。

⑤誤嚥は0件。

⑥異食は0件。

⑦他害行為は6件で、利用者が落ち着かなくなった際に把握が漏れてしまった際に起こったものが散見されました。

⑧車両事故は5件。

＊事故報告書については、軽微な事故でもすべて報告するよう義務づけ、施設長決裁としています。今後も事故防止の徹底に努めていきます。

4. 職員研修（人材育成）

○今年度は、前年度と比べて外部の研修機関も研修開催を再開することが多く、職員を多く派遣することができました。加算算定等に係る研修として、「強度行動障害者支援者養成研修および行動援護従業者養成研修（6名）」、「サービス管理責任者研修（2名）」、「医療的ケア実務者研修（2名）」に派遣したり、職員のキャリア形成を目的とした研修として、「チームリーダー研修」「アセスメント技術研修」「対人援助基礎研修」等の研修にも派遣したりしました。

○内部研修については、職員会議内において、利用者をアセスメントとする力を身につける研修を4回に分けて行ったり、虐待防止委員会主催の虐待防止・人権研修をしたりしました。また、組織運営・職員育成を学ぶための課長補佐研修・主任研修も実施しました。

5. その他

（1）苦情解決

苦情受付 ①件数 0件（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

②内容

（件）

苦情の内容	令和3年度	令和2年度
① 虐待・放置・脅迫・詐取に関すること	0	0
② サービス・支援内容に関すること	0	0
③ 個人の嗜好・選択に関すること	0	0
④ 利用者の所持金に関すること	0	0
⑤ その他	0	0
計	0	0

(2) 虐待防止委員会

次年度から全ての障害福祉サービス事業所に義務付けられる虐待防止委員会の設置について、今年度より設置・開催しました。

	開催日	内容
第1回	5月11日	委員会の役割、虐待防止指針の確認、年間スケジュール、不適切支援アンケート実施について
第2回	7月13日	不適切支援アンケート実施の報告、虐待防止・人権研修実施に向けて
第3回	9月14日	身体拘束適正化・ガイドラインの確認、虐待防止・人権研修実施に向けて
第4回	11月9日	各部署での身体拘束の必要性の確認、虐待防止・人権研修の内容の確認
主催研修	11月29日	「虐待防止・人権研修」(職員会議内)

(3) 避難訓練

令和3年度の航の避難訓練は、9月25日、10月30日、3月9日の3回実施しました。9月は、航は土砂災害警戒区域に指定されていることを受けて、土砂災害想定で実施をしました。また、10月には夜間における火災を想定し、3月は日中の地震を想定して訓練を実施しました。訓練では利用者の避難誘導を行った後に、職員を対象に土砂災害の各地で起こった水害・土砂災害の事例の共有や消火器の取り扱い方法などの学習を行いました。

・航の従たる事業所と手織り工房コパンにおいてもそれぞれ避難訓練を実施しました。

「和海」(金沢区釜利谷東)では、2月7日(火災想定)と3月10日(地震想定)、3月18日(洪水想定)に実施し、「羅針盤」(金沢区泥亀)では、10月6日(水害想定)と11月12日(地震想定)に実施しました。また、「手織り工房コパン」(金沢区釜利谷東)では12月15日(地震想定)と3月25日(火災想定)に、「手織り工房アミー」(金沢区釜利谷南)では、10月14日(地震想定)と12月21日(火災想定)に実施しました。

令和3年度 金沢地域活動ホームりんごの森事業報告

概説

新型コロナウイルス禍において、感染者等の発生により日中活動やショートステイ等では数日程度事業を休止することがありましたが、それを除き概ね順調に運営することが出来ました。また、嘱託医の協力により7月よりワクチンの施設接種を開始し、3月までに3回分（ご利用者及び職員分）を終了することが出来ました。

金沢区基幹相談支援センターでは、横浜市の指示により感染拡大時期の区との連携事業や金沢区障害者地域自立支援協議会等の事業を一時的に中止することもありましたが、日程を変更したほか、リモート形式での開催等により事業を進めることが出来ました。

りんごの森の日中活動では今年度も4名の養護学校卒業生の受け入れを行いました。また、定員超過により今後の受け入れは困難となるため、今後の安定的な受け入れを可能とすることを目的に、新規日中活動事業所の開設に向けて準備を進めました。

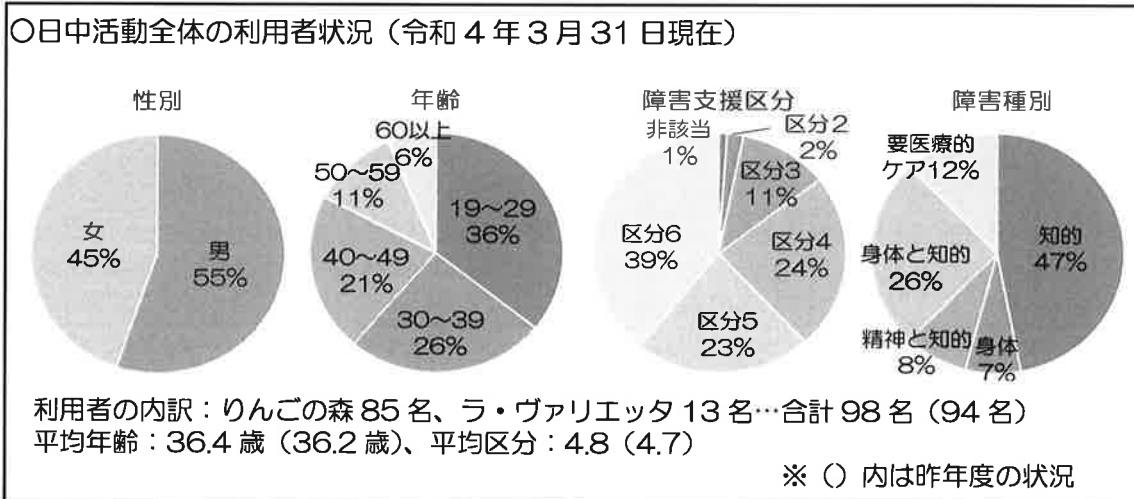
1. 重点項目の実施状況

（1）新規事業の推進（継続）

りんごの森の生活介護事業では定員40名に対して日々の平均利用者数が45名と定員を超過した状況が続いています。このような状況ですが、手厚い支援を必要とする方からの利用に対するご希望を多く受けており、今後の受け入れを絶やさないようにするため、新規の日中活動事業所の開設に向けて取り組みました。幸いにも地主様のご協力により、釜利谷東に開設予定地を確保することが出来ました。今後は建築工事を済ませ、令和4年11月に事業開始の予定です。

（2）日中活動班の再編に向けた検討（新規）

りんごの森の日中活動利用者のご家族に対して新規事業所の利用について、意向確認を行った結果、複数のご家族から利用のご希望を得ることが出来ました。今後は移行に合わせて、りんごの森活動班の再編を実施します。



（３）腰痛予防の取り組み（新規）

重症心身障害の方の受け入れを毎年推進してきたことで、身体介助に伴う腰痛予防の取り組みが喫緊の課題となっていました。このため、ノーリフトケア研修（力に頼らない介助法）に職員を派遣しました。研修後には派遣した職員による伝達研修を行い、電動リフトの安全な使用法とその必要性について理解を広めました。また、導入に当たり、スムーズに電動リフトが使用できるよう活動場所の改修工事を行い、実践につなげることが出来ました。リフトの活用により職員から「身体的な負担が全く違う」との感想を得ています。

（４）相談支援事業の推進（継続）

金沢区基幹相談支援センターが事務局として運営している金沢区障害者地域自立支援協議会では、講師を招いて地域生活支援拠点の構築や支援困難な事例に対する支援者の向き合い方についての講演会を実施しました。その他、利用者の状態像を把握するアセスメントツールの活用法についての研修会を実施しました。区内事業所からは多くの参加があり、支援者として新たな気づきを得る機会となりました。今後も参加することへの意義を更に高めながら事業所間の連携を推進し、地域における課題解決に積極的に取り組んでいきます。

（５）独自事業（区との連携事業）の推進（継続）

金沢区基幹相談支援センターでは２回の講演会の他、５回の講座を開催しました。新型コロナウイルスの感染の状況を勘案し、リモート形式による参加を推進しました。感染拡大時期には予定していた講座を延期したことで、思うように集客につなげることが出来ませんでした。また、ご家族の高齢化に伴い、成年後見制度や相続と遺言、家族信託等について関心を寄せられていたため、次年度も一部内容を変更して実施します。

親あるうちの準備を考える連続講座

- | | |
|--------|---------------------------------|
| 第1回講演会 | ： 知っておきたい親なきあと（7月2日） |
| 第2回講演会 | ： 障害者のはたらく今（11月19日） |
| 第1回目講座 | ： 障害者のすまいについて（7月14日） |
| 第2回目講座 | ： 成年後見制度の概要（8月6日） |
| 第3回目講座 | ： 相続と遺言・家族信託（8月26日） |
| 第4回目講座 | ： ライフステージで変わる福祉制度と支援について（11月2日） |
| 第5回目講座 | ： 発達に不安のある子どもの支援について（10月12日） |

2 令和3年度金沢地域活動ホームりんごの森事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(単位 円)

	3年度	2年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	202,891,740	183,525,655	19,366,085	人員配置体制加算等による増
就労支援事業収益	18,225,548	18,333,014	△ 107,466	
経常経費寄附金収益	0	0	0	
サービス活動収益(1)	221,117,288	201,858,669	19,258,619	
人件費	152,734,779	138,486,324	14,248,455	非常勤職員の加配による増
事業費	19,476,118	18,281,906	1,194,212	改修工事による増
事務費	28,353,227	27,896,806	456,421	
就労支援事業費用	20,595,912	18,279,857	2,316,055	販売員給与、消費税初回払い等による増
減価償却費	16,804,323	17,205,791	△ 401,468	
国庫補助金取崩額	△ 12,418,113	△ 12,451,545	33,432	
サービス活動費用計(2)	225,546,246	207,699,139	17,847,107	
収支差額(1-2=3)	△ 4,428,958	△ 5,840,470	1,411,512	
サービス活動外収益(4)	6,801,311	6,045,582	755,729	パン販売、軽作業工賃収入増による
サービス活動外費用(5)	1,958,100	1,805,700	152,400	
サービス活動外増減差額(4-5=6)	4,843,211	4,239,882	603,329	
経常増減差額	414,253	△ 1,600,588	2,014,841	

<資料編>

1. 実施事業(令和4年3月31日現在)

	事業名	定員数(人)	現員数(人)
国事業	生活介護事業	40	84
横浜市事業	地域活動支援センター(デｲ型)	10	1
国事業	生活介護事業(ﾗ・ｸﾞ ｾﾘｴﾀ)	10	10
国事業	就労継続支援B型事業(ﾗ・ｸﾞ ｾﾘｴﾀ)	10	3
国事業	金沢区基幹相談支援センター		
国事業	指定特定相談支援事業(計画相談)		265
横浜市事業	ショートステイ	4	4
横浜市事業	一時ケア	若干名	若干名
横浜市事業	おもちゃ文庫/地域交流室		1697/年
横浜市事業	余暇活動		33/年
横浜市事業	自立生活アシスタント事業	25	24
国事業	自立生活援助事業	10	3

2. 各種事業の実績と利用者の状況

①日中活動

〇りんごの森 生活介護事業・地域活動支援センター（デイサービス型） 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		21日	18日	22日	20日	21日	20日	21日	20日	20日	19日	18日	22日	242日
(昨年度)		21日	18日	22日	21日	20日	20日	22日	19日	20日	19日	18日	23日	243日
生活介護	登録者数 (下段は前年度)	85 (79)	85 (79)	84 (79)	83 (80)	83 (81)	83 (81)	83 (81)	83 (81)	83 (81)	83 (81)	83 (81)	84 (81)	
	延利用人数	962 877	827 836	1014 989	916 929	902 815	916 882	973 983	900 838	908 896	853 831	802 808	1014 1030	10987 10714
	在宅利用人数	7	6	6	6	9	10	8	6	6	8	10	10	
	延在宅利用 日数	51	43	32	41	71	67	58	46	43	52	65	66	635
	自肅人数	1	1	1	1	2	2	2	1	1	2	2	2	18
地域活動 支援 センター (デイ型)	登録者数 (下段は前年度)	2 0	2 0	2 0	2 0	2 0	2 0	2 1	2 1	2 1	2 2	2 2	1 2	23 35
	延利用人数	9 0	7 0	9 0	8 0	6 0	8 0	9 3	7 4	8 4	8 7	6 8	5 9	90 35
	在宅利用人数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	延在宅利用 日数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	自肅人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体	登録者数 (下段は前年度)	87 (79)	87 (79)	86 (79)	85 (80)	85 (81)	85 (81)	85 (80)	85 (80)	85 (80)	85 (79)	85 (79)	85 (79)	
	延利用人数	971 877	834 836	1023 989	924 929	908 815	924 882	982 986	907 842	916 900	861 838	808 816	1019 1039	11077 10749
	在宅利用人数	7	7	6	6	7	11	8	6	6	8	8	10	
	延在宅利用 日数	51	43	32	41	71	68	58	46	43	52	65	66	636
	自肅人数	1	1	1	1	2	2	2	1	1	2	2	2	18

〇りんごの森 生活介護事業 利用者の状況

年齢階 層 (歳)	利用者(人)			障害支援区分						知的	身体	精神 と 重複	知的・身体 の 重複障害	
	男	女	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当				内要医療	
19～29	16	14	30	16	8	5	1	0	0	10	3	1	16	8
30～39	15	8	23	11	8	4	0	0	0	13	0	1	10	3
40～49	9	7	16	5	4	6	1	0	0	7	1	3	4	0
50～59	4	5	9	3	0	1	4	1	0	5	1	2	1	1
60以上	2	4	6	0	1	2	3	0	0	3	0	1	2	0
総数	46	38	84	35	21	18	9	1	0	38	5	8	33	12
平均年齢	35.8歳			42%	25%	21%	11%	1%	0%					

- ・平均年齢は、35.8歳（昨年度は36.9歳）
- ・平均障害支援区分は4.95、区分5以上が66%
- ・知的・身体障害の重複障害（33%）、また医療的ケア対応（14%）となっており、他法人の地域活動ホームと比べても医療ケアを必要とする方の受け入れを行っています。

〇りんごの森 地域活動支援センター（デイサービス型） 利用者の状況

年齢階層 (歳)	利用者（人）			障害支援区分						知的	身体	精神と重複	知的・身体の重複障害	
	男	女	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当					内要医療
19～29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
50～59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
平均年齢	45歳			0%	0%	0%	0%	100%	0%					

・活動状況

今年度も引き続き、感染予防対策を徹底しながら、活動を実施しました。手洗いや消毒の難しい方には必要に応じて介助を行いました。

本年 11 月に開設予定の新規事業所について、利用者ご家族にご案内の上、意向確認を行ないました。その結果、多くのご家族より利用希望を頂くことが出来ました。

今後は安心してご利用頂けるよう、活動及び支援プログラムの整理を行う共に配置する職員に対して必要な研修を実施します。

3 月に重症心身障害のご利用者が活動する「アート班」の改修工事を行ない、リフトを使用する上で支障のあった段差部分を撤去するとともに、新たに介護ベッド複数台と床走行式の電動リフトを導入しました。床走行式電動リフトの活用により、ご利用者の抱きかかえが減少し、職員の身体的な負担軽減に繋がりました。

・活動班

- a アップルベーカリー（主にパン作り）
- b アップルスイーツ（車いすの方でも参加できる菓子製造）
- c アップルファクトリー（主に制作活動）
- d アップルクラフト（自閉症の特性を生かした活動）
- e アップルアート（静かな環境を好む方の活動）
- f アップルアラカルト（散歩や体操等動きを伴う活動）

・その他活動

- a 運動プログラム（ダイヤビック、散歩他）
- b 外販（規模を縮小。法人本部、柳町CP 各 2 回／月）
- c スヌーズレン
- d おやつ企画（毎月 1 回）

〇ラ・ヴァリエッタ (la varietta) 生活介護事業・就労継続支援B型事業 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		21日	18日	22日	20日	21日	20日	21日	20日	20日	19日	18日	22日	242日
(昨年度)		21日	18日	22日	21日	20日	20日	22日	19日	20日	19日	18日	23日	243日
生活介護	登録者数 (下段は前年度)	9	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	
		8	8	8	8	8	9	10	10	10	10	10	10	
	延利用人数	181	154	180	166	161	175	193	184	181	177	162	160	2074
		143	121	170	163	135	175	208	182	190	172	168	220	2047
	在宅利用人数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	7	11
	延在宅利用日数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	4	35	43
就労継続 B型	登録者数 (下段は前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用人数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
		2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	
	延利用人数	60	42	47	44	44	43	49	51	53	36	42	42	553
		30	28	28	34	26	31	50	41	42	31	27	37	405
全体	在宅利用人数	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		0	0	6	8	8	7	6	4	1	7	7	9	63
	自肅人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登録者数 (下段は前年度)	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	
		10	10	10	10	10	11	13	13	13	13	13	13	
全体	延利用人数	241	196	227	210	205	218	242	235	234	213	204	202	2627
		173	149	198	197	161	206	258	223	232	203	195	257	2452
	在宅利用人数	0	0	1	1	1	1	1	2	1	3	2	8	21
	延在宅利用日数	0	0	6	8	8	7	6	5	1	10	11	44	106
	自肅人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延自肅日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

〇ラ・ヴァリエッタ (la varietta) 生活介護事業 利用者の状況

年齢階層 (歳)	利用者(人)			障害支援区分						知的	身体	精神と重複	知的・身体 の重複障害	
	男	女	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当				内要医療	
19~29	1	3	4	1	0	1	1	0	0	1	0	0	3	0
30~39	1	1	2	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0
40~49	2	0	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
50~59	1	1	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
60以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	5	5	10	3	1	5	1	0	0	5	1	0	4	0
平均年齢	36.7			30%	0%	60%	10%	0%	0%					

- ・平均年齢は 36.7 歳（昨年度は 38.6 歳）
- ・平均障害支援区分は 4.6、区分5以上が 40%

〇ラ・ヴァリエッタ (la varietta) 就労継続支援B型事業 利用者の状況

年齢階層 (歳)	利用者(人)			障害支援区分						知的	身体	精神	知的・身体 重複障害	
	男	女	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当				内要医療	
19～29	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
30～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49	2	0	2	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0
50～59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	2	1	3	0	0	1	1	0	1	2	1	0	0	0
平均年齢	35.6			0%	0%	0%	33%	0%	67%					

・平均年齢は35.6歳（昨年度は32.5歳）

・活動状況

令和4年2月で開所して2年となりました。感染症対策により外出などのイベントは自粛したため、事業所内でケーキ作り等の活動を楽しみました。

9月にテレビで紹介されて以降、認知度が高くなり、店舗の売り上げも伸びてきたため、製造や商品準備の活動が忙しくなりました。特にバレンタインデー、ホワイトデーシーズンは製造が追いつかないくらいの売れ行きでした。

また、感染症への対応として、3月2日～8日まで、職員1名の陽性と1名の濃厚接触者（家族陽性）が確認されました。この期間は支援体制が整わないことを理由に生活介護のみ一時的に事業を休止としました。それ以外は概ね順調に運営することができています。

②相談支援事業

〇指定特定相談支援事業（計画相談） 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	253	254	256	259	259	259	259	260	260	261	262	265	
（昨年度）	(237)	(239)	(240)	(244)	(245)	(247)	(250)	(251)	(251)	(253)	(253)	(255)	
計画案作成	14	8	18	13	13	20	13	22	20	22	21	33	217
	(6)	(9)	(12)	(16)	(10)	(20)	(16)	(20)	(21)	(35)	(25)	(33)	(223)
モニタリング	52	60	62	64	59	67	47	43	53	55	43	64	669
	(55)	(61)	(56)	(61)	(65)	(61)	(53)	(58)	(64)	(45)	(46)	(53)	(678)

・活動状況

今年度も新型コロナウイルスの状況をみながら、福祉サービスの利用調整等、関係機関と連携しながら支援を継続しました。緊急事態宣言期間中及び蔓延防止措置期間中は、可能な範囲で家庭訪問や事業所訪問を控え、電話での聞き取りに変更し対応しました。またリモートにてカンファレンスを開き関係事業所と連携を図りました。

実績について、モニタリング月を整理する事により新規の利用希望者との契約を複数進めることが出来ました。

○金沢区基幹相談支援センター（上半期実績）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	備考
相談件数内訳	相談件数 (昨年度)	219 (69)	213 (51)	270 (102)	175 (102)	173 (133)	233 (155)	
	うち金沢区	209	211	265	170	172	232	
	実人員	35	43	35	40	37	42	
	成人	20	35	17	29	31	31	
	うち金沢区	18	34	14	28	31	30	
	児童	15	8	18	11	6	11	
	うち金沢区	13	7	16	9	5	11	
新規・相談経路（実人員）	新規	13	11	19	6	8	18	
	継続	22	32	16	34	29	24	
	本人・家族	6	9	11	2	3	6	
	学校	1	0	2	1	0	1	
	区役所CW、MSW	1	0	1	1	2	3	
	他区地域活動ホーム、日中活動先	1	0	0	0	0	2	
	後見的支援室、計画相談事業所	2	1	3	0	0	1	
	訪問系サービス	1	0	0	0	0	0	関係サービス…ヘルパー事業所、訪問看護事業所
	その他	1	1	2	2	3	5	その他…二次相談支援機関、病院SW、包括支援センター、デイケア、サボステ、ケアプラ、SSW
障害種別（延件数）	身体障害	22	21	23	10	12	18	
	知的障害	116	91	109	76	79	118	
	精神障害	61	75	87	59	62	78	精神不安定な状態が続き、傾聴に努めるケースが増加している
	重心	0	0	0	0	0	0	
	高次脳機能障害	2	1	3	1	0	0	
	発達障害等	10	10	16	14	7	8	平成29年度よりカウントの仕方変更。手帳なしでアスペルガー等診断の出ている方のみをカウント
	不明	8	15	32	15	13	11	
障害種別(小計)		219	213	270	175	173	233	
相談内訳（延件数）※複数カウント	福祉サービスの利用等に関する支援	91	104	117	64	77	106	福祉サービス（日中活動、SS・短期入所、ホームヘルパー等）の利用相談
	障害や病状の理解に関する支援	9	12	24	10	5	14	
	健康・医療に関する支援	43	34	41	18	27	50	
	不安の解消・情緒安定に関する支援	68	64	68	56	60	62	
	保育・教育に関する支援	4	6	11	5	2	2	
	家族関係・人間関係に関する支援	23	18	21	23	20	26	
	家計・経済に関する支援	10	8	11	6	5	8	
	生活技術に関する支援	2	3	6	2	4	0	
	就労に関する支援	18	17	13	11	6	11	
	社会参加・余暇活動に関する支援	15	14	6	11	16	5	
	権利擁護に関する支援	3	4	3	2	3	4	
	視覚障害者等情報弱者への朗読等支援	0	0	0	0	0	0	
	ピアカウンセリング	0	0	0	0	0	0	
個別支援会議（サービス担当者会議）		7	3	5	4	4	5	
地域自立支援協議会（定例会議・部会・打ち合わせ）		7	8	10	9	5	2	オンライン会議含む
基幹相談支援センター連絡会		3	2	2	2	2	3	主任相談員分科会、地域移行・地域定着担当者会、権利擁護・虐待防止担当者会（幹事担当打ち合わせ含む）
（基幹）金沢区関連の連絡会議		3	3	3	3	1	0	区・生活支援センター・地活 定例カンファレンス、精神定例カンファレンス
（基幹）その他の関係機関連絡会議		1	4	5	5	4	1	成年後見サポートネット、退院サポート、地域の計画相談事業所サポート、てくてく会議、すこやか連絡会、生徒指導・児童専門教諭会

○金沢区基幹相談支援センター（下半期実績）

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
相談件数内訳	相談件数 （昨年度）	176 (216)	226 (187)	192 (181)	238 (176)	181 (138)	212 (183)	
	うち金沢区	173	222	190	235	178	207	
	実人員	44	47	40	43	38	46	
	成人	25	33	26	33	27	37	
	うち金沢区	24	32	24	31	25	35	
	児童	19	14	14	10	11	9	
	うち金沢区	17	13	14	9	11	6	
新規・相談経路（実人員）	新規	10	5	10	10	6	6	
	継続	34	42	30	33	32	40	
	本人・家族	2	5	2	5	3	1	
	学校	1	0	0	0	1	1	
	区役所CW、MSW	1	0	2	1	0	2	
	他区地域活動ホーム、日中活動先	1	0	0	0	1	0	
	後見的支援室、計画相談事業所	1	0	2	1	0	2	
	施設	0	0	0	1	0	0	
	その他	4	0	4	2	1	0	その他…二次相談支援機関、病院SW、 包括支援センター、デイケア、放課後等 デイ、青少年相談センター、他自治体基
障害種別（延件数）	身体障害	11	3	11	8	4	9	
	知的障害	85	104	86	120	95	116	
	精神障害	61	76	71	85	64	66	精神不安定な状態が続き、傾聴に努める ケースが増加している
	重心	0	1	0	0	0	0	
	高次脳機能障害	0	1	0	0	0	0	
	発達障害等	5	13	6	12	7	11	平成29年度よりカウントの仕方変更。 手帳なしでアスペルガー等診断の出ている 方のみをカウント
	不明	14	28	18	13	11	10	
障害種別(小計)		176	226	192	238	181	212	
相談内訳（延件数） ※複数カウント	福祉サービスの利用等に関する支援	66	87	82	107	85	96	福祉サービス（日中活動、SS・短期入 所、ホームヘルパー等）の利用相談
	障害や病状の理解に関する支援	15	22	13	17	12	18	
	健康・医療に関する支援	30	39	31	49	44	65	
	不安の解消・情緒安定に関する支援	39	45	54	55	33	38	
	保育・教育に関する支援	6	3	4	5	2	9	
	家族関係・人間関係に関する支援	20	17	11	24	18	12	
	家計・経済に関する支援	14	20	11	12	10	7	
	生活技術に関する支援	12	9	7	15	8	8	
	就労に関する支援	5	9	11	9	3	8	
	社会参加・余暇活動に関する支援	10	9	8	11	8	13	
	権利擁護に関する支援	1	2	6	4	2	2	
	視覚障害者等情報弱者への朗読等支援	0	0	0	0	0	0	
	ピアカウンセリング	0	0	0	0	0	0	
個別支援会議（サービス担当者会議）		6	10	11	7	6	11	
地域自立支援協議会（定例会議・部会・打合せ）		8	8	11	12	8	4	オンライン会議含む
基幹相談支援センター連絡会		3	2	2	2	2	1	主任相談員分科会、地域移行・地域定着 担当者会、権利擁護・虐待防止担当者会 他
（基幹）金沢区関連の連絡会議		3	3	3	3	1	3	区・生活支援センター・地活 定例カ ンファレンス、精神定例カンファレ ンス
（基幹）その他の関係機関連絡会議		2	5	5	3	0	1	成年後見サポートネット、退院サ ポート、地域の計画相談事業所サ ポート、てくてく会議、すこやか連 絡会、生徒指導・児童専任教諭会、 移動情報センター会議、民児協、地

・活動状況

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症に影響を受けましたが、これまでの経験を踏まえ、新しい形で事業継続できるよう工夫をしました。自立支援協議会や講演会、講座等、人を集める機会が多くありましたが、Zoom の活用やスペースの確保等の感染対策を講じることで、開催を断念することは最小限としました。

金沢区障害者地域自立支援協議会では、夏の緊急事態宣言発令中を除き、各部会、各連絡会を積極的に開催しました。顔の見える関係づくりや情報共有だけでなく、所属事業所の方々のニーズに合わせた勉強会や研修会を実施。10 月には、「支援者が感じる困難さと上手に向き合うために」というテーマで困難事例をあげてもらい、各事業所間で意見を交換し、1 月から 3 月にかけては全 6 回で、区内外の 40 近い事業所が参加するアセスメントツールに関する研修会を Zoom で開催しています。

また、障害のある方やそのご家族・テーマに関心のある地域住民に向けて、「親あるうちの準備を考える連続講座～ライフステージを意識して～」を、6 月から 11 月にかけて開催しました。講演会 2 回と講座 5 回を実施し、Zoom 配信も取り入れながら多くの方にご参加いただいています。

今後も地域生活支援拠点機能の整備と拡充に向け、地域の事業所の理解と意識向上のために、自立支援協議会や事業所訪問等を通して周知活動や検討の機会を持っています。障害福祉分野だけでなく、他分野（高齢・学校・地域等）ともつながりを持つことで、地域全体で障害のある方を支えられるような体制の構築を目指します。

相談登録者に関しては、発達障害や行動障害の他、本人や家族の高齢化等に伴い支援困難な状況にある方の相談が増えてきています。そのため、専門機関である二次相談機関（発達障害者支援センター等）や他職種（病院ソーシャルワーカー等）と連携して対応しています。今後も関係機関との相互協力のもと支援していきます。

③横浜市地域生活支援事業

〇一時ケア・ショートステイ 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
一時 ケア	件数 (下段は前年度)	128	139	133	155	140	110	130	139	126	130	121	137	1588
		(103)	(103)	(108)	(139)	(125)	(125)	(125)	(137)	(126)	(101)	(121)	(141)	(1454)
	時間数	297	365	304	431	444	264	336	342	300.5	345	316	345	4089.5
SS		(266)	(335.5)	(255)	(300)	(363)	(260.5)	(284.5)	(363.5)	(283)	(234.5)	(325.5)	(324)	(3595)
	件数 (下段は前年度)	65	68	70	84	58	60	67	67	62	73	54	61	789
		(50)	(47)	(57)	(73)	(61)	(66)	(74)	(78)	(71)	(59)	(73)	(78)	(787)

・活動状況

今年度も新型コロナウイルス感染症対策などを講じた上で受け入れを行いました。

一時ケアは件数、時間数とも前年度より増加しています。ショートステイは789泊の実績となりました。利用目的として4月～7月は前年度の自粛と異なりレスパイトでの利用が増加しております。8月以降、第5波などによる感染拡大の影響もあり、レスパイト以外での利用申込が減少し全体の利用件数も減少しております。年度を通じての利用件数は昨年度より微増となっております。

コロナ禍の状況ではあるが、基幹相談支援センターおよび地域の計画相談事業所との連携の中で、利用希望されるご家庭などの体験利用受け入れ、緊急時の受け入れ態勢の確保などご本人やご家族がご安心いただけるよう支援しました。

〇おもちゃ文庫 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数 内訳	児童 (下段は昨 年度実績)	78	67	82	72	39	0	80	114	113	91	96	117	949
		0	0	0	0	0	0	0	(33)	(46)	(73)	(69)	(75)	(296)
	保護者 (下段は昨 年度実績)	56	59	66	62	32	0	65	92	86	65	73	92	748
		0	0	0	0	0	0	0	0	(23)	(37)	(52)	(45)	(60)
合計 (下段は昨年度実績)		134	126	148	134	71	0	145	206	199	156	169	209	1697
		0	0	0	0	0	0	0	0	(56)	(83)	(125)	(114)	(135)

・活動状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の為、1.5時間を1単位とした3回交代制および予約制で、1単位あたり上限6名の人数制限を設けて、開室しました。なお、利用開始時に、検温、手指消毒を行い、利用終了後は、おもちゃ・床等の消毒を徹底しました。緊急事態宣言のため、8月後半～9月は、閉室しましたが、その他の期間は、予約制による利用が可能であることが周知され、1か月あたりの利用件数は前年度の1.5倍程度増加しました。

毎年恒例のプール等の企画イベントについては、コロナ禍のため、中止としました。

〇余暇活動 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
余暇活動	実施回数 (下段前年 度)	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8
		0	0	0	0	0	0	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(6)
	参加人数 (下段前年 度)	5	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	33
		0	0	0	0	0	0	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(23)

・活動状況

新型コロナウイルス感染対策を講じた上で毎月1回手工芸製作を中心とした余暇活動を実施しています。12月より3月末までの期間は職員の欠員が継続したことで活動は中止

としました。次年度では職員体制が充足するため、活動を早期に再開します。

今後も一人でも多くのご参加がいただけるよう日程・時間などの調整に配慮します。

- ・ 4月：こいのぼりガーランドを作ろう
- ・ 5月：アロマワックスバーを作ろう
- ・ 6月：りんごの森で映画鑑賞
- ・ 7月：コップに模様を描こう
- ・ 8月：ランプを作ろう
- ・ 9月：フォトフレームを作ろう
- ・ 10月：ハロウィンの飾りを作ろう
- ・ 11月：アロマキャンドルを作ろう

④自立生活アシスタント事業 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録人数	27	27	26	26	25	24	23	23	24	24	24	24	297
	(26)	(26)	(26)	(27)	(27)	(27)	(27)	(27)	(29)	(28)	(28)	(27)	(325)
面接(来所)	8	19	12	12	6	3	7	5	6	7	8	12	105
	(24)	(18)	(24)	(21)	(22)	(20)	(20)	(13)	(15)	(19)	(15)	(21)	(232)
電話・メール等	142	69	61	91	90	99	67	67	72	69	43	51	921
	(149)	(144)	(112)	(140)	(121)	(108)	(105)	(55)	(105)	(124)	(104)	(194)	(1461)
訪問	35	35	42	38	24	34	31	28	30	26	33	20	376
	(63)	(45)	(42)	(45)	(47)	(56)	(41)	(31)	(33)	(37)	(39)	(54)	(533)
同行	37	37	32	22	28	28	44	36	39	27	32	28	390
	(46)	(43)	(52)	(53)	(72)	(49)	(70)	(38)	(54)	(35)	(42)	(63)	(617)
その他 カンファレンス	6	3	19	0	14	0	4	4	0	5	5	11	71
	(3)	(5)	(5)	(5)	0	(2)	(4)	0	(20)	(22)	(13)	(8)	(87)

・3月末で登録者は24名。年度内における新規登録は2名、解除は5名、相談ケースは0件でした。

・新規登録の内訳

自立生活援助事業からの支援継続 1件

グループホームから独居に向けてのケース 1件

・解除の内訳

支援課題終了によるもの 1件

グループホーム入居によるもの 3件

入所施設へ入所によるもの 1件

・自立生活アシスタント登録者の余暇活動は、感染予防のため、昨年度と同様に中止としました。

・生活の安定から、支援頻度を少なくし、あえて距離を取る方向へというケースが増えてきています。

⑤自立生活援助事業 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約人数	1	4	4	4	4	5	3	3	3	3	3	3	40
	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(24)
面接(来所)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
	0	0	(4)	(1)	(1)	(1)	0	0	0	(3)	0	(1)	(11)
電話・メール等	12	8	5	5	23	11	12	21	10	8	5	22	142
	(1)	(1)	(1)	(3)	(1)	(6)	(3)	(1)	(7)	(7)	(4)	(7)	(42)
訪問	23	18	10	15	17	14	15	12	14	9	8	13	168
	(4)	(5)	(1)	(4)	(1)	0	(2)	(3)	(2)	(6)	(1)	(11)	(40)
同行	11	8	6	9	11	13	13	8	11	4	2	1	97
	(1)	(2)	0	(1)	(1)	(1)	(1)	0	(2)	(2)	(1)	(2)	(14)
その他 カンファレンス	1	0	0	2	0	2	2	0	1	0	0	0	8
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(5)	(5)

・活動状況

3月末で契約者は3名(3名とも3月末で終了)。年度内における新規契約は4名、解除は5名、相談中の方1件でした。

令和3年度の新規契約者の内訳として、新規4名のうち3名は親の施設入所に伴い支援開始となりました。その他の1名は、以前自立生活アシスタントに登録されていた方で離職後に生活保護開始となり認知機能低下との見立てから支援開始となりました。

契約終了の内訳として、支援課題終了となり支援終了となった方が3名。グループホーム入居となった方が1名。自立生活アシスタント事業へ移行し支援継続となっている方が1名となります。

3. 研修

①法人内研修

研修名	参加者数
新任職員基礎研修	
非常勤ミニ研修	
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止	

②外部研修

研修名	参加者数
(福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程Ⅲ) チームリーダー研修 労務管理研修 障害者基礎研修～本人の「思い」に寄り添うために～ 横浜市における成年後見制度利用促進 相談機関向け研修 福祉施設における新型コロナウイルス対策研修	

生活支援の現場から知る大人の発達障害 自閉症や知的障害のある方のコミュニケーション支援に関する研修会 自閉症療育者の為のトレーニングセミナー 車椅子について知ってみよう ひきこもり支援研修 気になる子どもの理解と対応・保護者への関わり方 いよいよ“義務化”虐待防止対策 等	延べ 54 名
--	---------

4. その他

・苦情解決

(1) 件数 0件（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

(2) 内容 (件)

苦情の内容	3年度	2年度
① 虐待・放置・脅迫・搾取に関する事	0	0
② サービス・支援内容に関する事	0	0
③ 個人の嗜好・選択に関する事	0	0
④ 利用者の所持金等に関する事	0	0
⑤ その他	0	0
計	0	0

令和3年度 地域支援センター 事業報告

概説

地域支援センターは、共同生活援助事業（グループホーム12棟）、ケアステーション心海（ヘルパー派遣事業）、金沢区障害者後見的支援室帆海の3つの事業を展開しています。

- ・令和3年度も、新型コロナウイルス関連では、感染防止に最大限の配慮をしつつ、各事業の安定運営に努めました。
- ・泉区グループホームの利用者に感染者が発生した際は、消毒や換気の徹底、防護服の着用、勤務者の限定等の対応を行いました。感染拡大はなく、事業を停止せずに運営を継続できました。

（新型コロナウイルス感染状況）

感染者		濃厚接触者	
6名		16名	
職員	利用者	職員	利用者
4	2	8	8

- ・令和3年7月に、地域支援センター事務所を能見台より、金沢文庫（釜利谷東）に移転しました。

（各事業の概要）

- ① グループホーム利用者状況 ※12棟に、62名の利用者が入居中です。

新型コロナウイルス禍の中、利用者の皆さんには、外出や帰省・ご家族の訪問の自粛等、生活上の制約にご協力いただきましたが、安定した運営ができました。

年齢階層	構成（人）			肢体 不自 由	自 閉	発 作	障害支援区分					計
	総数	男	女				6	5	4	3	2	
総数	62	32	30	12	18	20	35	11	12	2	2	62
平均年齢	49.5 歳											

- ② ケアステーション心海

令和3年度は居宅介護事業を休止し、移動系の支援（横浜市移動支援、行動援護）に力をいれて運営しました。

	令和3年度	令和2年度
登録ヘルパー数	24	25
居宅介護総稼働時間	0	4325
移動介護総稼働時間	2145.5	1883.5
行動援護総稼働時間	1511	955
稼働時間合計	3656.5	3270

③ 金沢区障害者後見的支援推進事業

新型コロナウイルスへの感染防止のため、訪問・面談等で業務の制約を受けましたが、登録者に寄り沿った運営を行いました。

年度	令和 3 年度	令和 2 年度
登録者数 (人)	84	76

重点項目の実施状況

(1) 地域支援センター内の人材育成の強化＜各事業共通＞（継続）

新型コロナウイルスによる外部研修の中止が続き、研修派遣が殆どできませんでしたが、サポーターズカレッジの視聴を利用し、職員個々の育成に繋げました。

各種委員会を定期的を開催することで、視野の拡大と職員間のコミュニケーションの活性化を図ることができました。

職員の人権意識を高めるため、10月に横浜市健康福祉局障害施策推進課職員を講師に招き、地域支援センター全職員を対象に研修を行いました。

事業継続計画（BCP）に基づき、IP 無線（携帯電話の回線を使用）の使用練習を重ね、横浜市で震度 5 強を想定した職員参集と通信訓練を 10 月に実施しました。

☆各種委員会の状況

- ・研修委員会：地域支援センター年間研修計画の作成。内外研修の派遣手配。
- ・防災委員会：定期的な避難消火訓練の実施。職員参集訓練の実施。災害物資の準備。
- ・中長期委員会：書式等の見直し、検討による業務改善。
- ・虐待防止委員会：虐待防止委員会の設置義務化に向けての準備。マニュアルの作成。

(2) 共同生活支援事業（グループホーム）の支援の充実と安定的運営（継続）

日常では手指の消毒、マスクの着用、空気清浄機やアクリル板の設置などを行う他、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置発令時には、帰省・面会、外出の規制を行い、新型コロナウイルス感染防止に努めました。

会計報告会は中止としましたが、定期的に入居者の様子を報告する等し、信頼関係の維持に努めました。

老朽化していたつばきを建替えていただき、12月に移転しました。その際に、定員を5人から6人にしました。1月に、新たな利用者1名が航から入居しました。

老朽化した歩海の移転とすみなす会第13番目のグループホーム（男性用）の設置の準備を家主と進めました。

(3) 心海（ヘルパー派遣事業）の拡大（継続・拡充）

令和 3 年度は、移動系の事業（横浜市移動支援、行動援護）に力をいれ、新型コロナウイルスの緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令時には、混雑場所への外出の規制や遠方への外出をキャンセルする等の対応をしましたが、稼働時間拡大につながりま

した。

また、8月にはヘルパーに対し研修を実施し、ヘルパーとの関係強化に努めました。

区社協とタイアップした「ガイドヘルパー養成研修」については、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、今年度も中止としました。

※「行動援護」（重度の知的障害者の方の外出時に危険を回避する等の支援－他害・自傷等の防止）

（移動稼働時間数）

	令和3年度	令和2年度
利用者数（移動介護）－人	907	966
利用者数（行動援護）－人	633	452
利用者数合計	1540	1418
稼働時間数（移動介護）－時間	2145.5	1883.5
稼働時間数（行動援護）－時間	1511	955
稼働時間数合計	3656.5	2838.5

（4）横浜市後見的支援室・帆海の普及啓発（継続・拡充）

（成年後見人制度とは異なり、横浜市独自の制度で、障害のある方を訪問しながら見守る）登録者は84名となりました。

新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、面談と訪問、周知活動を行い、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発令時においては、登録者に定期的な電話連絡などをし、安心に繋がるようにしました。

2月には「あんしんキーパー集う会」を実施し、地域キーパーとのつながりを深めました。登録者等との茶話会は新型コロナ感染防止に配慮し、中止としました。

2 令和3年度地域支援センター事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(3事業の合計)

(単位:円)

	3年度	2年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	394,671,606	390,834,240	3,837,366	区分更新 重度加算者増
経常経費寄附金収益	0	100,000	△100,000	
サービス活動収益計(1)	394,671,606	390,934,240	3,737,366	
人件費	293,413,704	289,981,586	3,432,118	常勤・非常勤職員増
事業費	72,067,822	70,663,003	1,404,819	災害時備蓄品購入 つばき移転新設備
事務費	24,667,523	21,753,904	2,913,619	センター移転 つばき移転
減価償却費	3,419,284	3,509,974	△90,690	
国庫補助金取崩額	△1,781,230	△1,807,400	26,170	
サービス活動費用計(2)	391,787,103	384,101,067	7,686,036	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,884,503	6,833,173	△3,948,670	
サービス活動外収益(4)	543,940	912,059	△368,119	
サービス活動外費用(5)	10,100	940	9,160	
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	533,840	911,119	△377,279	
経常増減差額(3)+(6)	3,418,343	7,744,292	△4,325,949	

<資料編>

実施事業(令和4年3月31日現在)

(1)共同生活援助事業(グループホーム) ※国事業

①共同生活援助事業 事業所

R4.3 末現在()は前年度数

	事業所名	定員(人)	現員(人)	所在地	運営開始時期
1	晴海	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成16年4月1日
2	なかなかホーム	5(5)	5(5)	中区本郷町	平成16年4月1日
3	拓海	5(5)	5(5)	金沢区大道	平成17年4月1日
4	歩海	4(4)	4(4)	金沢区釜利谷南	平成18年4月1日
5	希海	5(5)	5(5)	金沢区六浦	平成19年4月1日
6	つばき	6(5)	6(5)	金沢区朝比奈	平成20年10月1日
7	いづみ	5(5)	5(5)	泉区和泉中央北	平成22年4月1日
8	アイリス	5(5)	5(5)	泉区和泉中央南	平成22年4月1日
9	はま風	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成23年3月1日
10	岬	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成22年4月1日(帆海) 平成24年1月1日(岬)
11	灯	6(6)	6(6)	金沢区釜利谷東	平成26年4月1日
12	海翔	6(6)	6(6)	金沢区六浦	平成30年11月1日
合 計		62(61)	62(61)		

②利用者状況

R4.3 末現在 ()は前年度実績

	事業所名	構成(人)		平均 年齢 (歳)	肢 体 不 自 由	自 閉	発 作	障害支援区分					
		男	女					6	5	4	3	2	平均
1	晴海	0	5	56.0 (55.0)	0	2	1	2	1	2	0	0	5.0 (5.0)
2	なかなか ホーム	2	3	47.2 (46.2)	1	1	1	1	3	1	0	0	5.0 (5.0)
3	拓海	5	0	51.0 (50.0)	1	2	0	4	1	0	0	0	5.8 (5.8)
4	歩海	0	4	59.5 (58.5)	1	0	1	3	1	0	0	0	5.7 (5.7)
5	希海	5	0	47.6 (46.6)	1	2	1	3	2	0	0	0	5.6 (5.6)

6	つばき	0	6	52.3 (46.0)	1	1	3	2	1	1	2	0	4.5 (4.4)
7	いづみ	4	1	40.4 (39.4)	0	3	1	3	0	2	0	0	5.2 (5.2)
8	アイリス	0	5	50.2 (49.2)	2	0	2	0	2	2	0	1	4.0 (4.0)
9	はま風	5	0	51.2 (50.2)	0	1	2	5	0	0	0	0	6.0 (6.0)
10	岬	5	0	43.2 (42.2)	2	2	4	4	0	1	0	0	5.6 (5.6)
11	灯	0	6	58.0 (57.0)	3	0	2	4	0	2	0	0	5.3 (5.3)
12	海翔	6	0	38.5 (37.5)	0	4	2	4	0	1	0	1	5.0 (5.0)
総数		32	30	49.5	12	18	20	35	11	12	2	2	5.2
		62(61)		(48.1)				(35) (57%)	(11) (18%)	(11) (19%)	(1) (3%)	(3) (3%)	(5.2)

③利用者年齢階層

R4.3 未現在

年齢階層	構成（人）			肢体 不自 由	自 閉	発 作	障害支援区分					計
	総数	男	女				6	5	4	3	2	
19以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	3	3	0	0	2	0	0	0	2	0	1	3
30～39	7	2	5	1	1	2	1	1	4	0	1	7
40～49	21	15	6	4	9	6	19	2	0	0	0	21
50～59	21	10	11	4	6	12	12	4	3	2	0	21
60以上	10	2	8	3	0	0	3	4	3	0	0	10
総数	62	32	30	12	18	20	35	11	12	2	2	62
平均年齢	49.5 歳											

*利用者の男女比は男性 51.6%、女性 48.4%。

*利用者の障害支援区分は、最重度(区分6及び5)の利用者が全体で74%。

(前年度は75%、前々年度は74%。)

*利用者の平均年齢は 49.5 歳。(前年度は 48.1 歳)

*つばきは、令和3年6月に1名退所。令和3年9月に在宅より1名が入居した。

令和3年12月に移転を行い、定員6名となり、令和4年1月航より1名入居した。

(2) 行動援護事業、横浜市移動支援事業（居宅介護事業は令和3年4月から休止）

① 行動援護事業

R4. 3 末現在 () は前年実績

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者数	人	18	18	19	20	20	21	21	21	22	22	23	23	23
R3.3.31(18)		0	0	+1	+1	0	+1	0	0	0	0	+1	0	+4
延べ稼働 利用者数	人	52	49	58	54	34	48	69	53	62	53	47	64	633
		(9)	(27)	(28)	(39)	(40)	(45)	(46)	(41)	(45)	(44)	(40)	(48)	(452)
稼働 時間数	時 間	114.5	111.0	127.5	118.5	88.0	112.0	169.0	135.0	158.5	139.0	100.0	137.5	1511
		(16)	(42)	(38)	(83)	(88)	(108)	(118)	(86.5)	(99.5)	(95.5)	(89.5)	(91)	(955)

※令和2年4月より 行動援護事業を開始した。

② 横浜市移動支援事業

R4. 3 末現在 () は前年実績

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者数	人	64	62	63	64	64	63	63	63	65	65	65	65	65
R3.3.31(64人)		0	-2	+1	+1	0	-1	0	0	+2	0	0	0	+1
延べ稼働 利用者数	人	86	82	69	78	73	66	81	86	73	78	55	80	907
		(61)	(45)	(104)	(94)	(80)	(82)	(91)	(91)	(91)	(77)	(69)	(81)	(966)
稼働 時間数	時 間	206.5	195.5	158.5	196.0	172.5	157.5	183.5	208.0	184.5	200.0	100.0	183.0	2,145.0
		(85.0)	(54.5)	(150.0)	(194.0)	(148.5)	(156.5)	(171.5)	(227.5)	(224.0)	(178.5)	(148.0)	(144.0)	(1883.5)

③ 登録ヘルパー

R4. 3 末現在 () は前年実績

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総登録者数	人	22	21	21	21	21	21	23	22	22	23	24	24	24
R3.3.31(22人)		0	-1	0	0	0	0	+2	-1	0	+1	+1	0	+2
行動援護ヘルパー	人	10	11	12	12	12	13	13	14	14	14	14	14	14
R2.3.31(10人)		0	+1	+1	0	0	+1	0	+1	0	0	0	0	+4
移動支援ヘルパー	人	24	23	23	23	23	23	25	24	24	25	26	26	26
R3.3.31(24人)		0	-1	0	0	0	0	+2	-1	0	+1	+1	0	+2

(3) 障害者後見の支援推進事業（金沢区障害者後見の支援室 帆海）

①相談受付・訪問

R4. 3 末現在 () は前年実績

内 容		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
制度案内	件	2	3	2	1	1	4	2	3	2	3	1	1	25
		(1)	(2)	(2)	(4)	(3)	(3)	(3)	(5)	(2)	(3)	(2)	(2)	(32)
継続相談		3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	29
		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(3)	(3)	(19)
他制度紹介		1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
登録者訪問・ 面談		57	44	59	34	21	21	54	55	63	44	30	36	518
その他		2	0	1	0	2	0	0	1	0	1	0	2	9
計		65	50	65	38	27	27	59	62	68	50	33	41	585

※7月～9月、2月～3月は新型コロナウイルスの感染防止のため、訪問・面談は自粛しました。

②登録者数（実人数）

R4. 3 末現在

内 容	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者	人	77	78	79	80	79	80	81	81	82	83	84	84	84
R3.3 (77人)		0	+1	+1	+1	-1	+1	+1	0	+1	+1	+1	0	+7

※令和3年度は新規登録者が7名、登録解除者は1名。

③周知活動

R4. 3 末現在 () は前年実績

内 容		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
制度説明	件	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3
		(0)	(0)	(2)	(3)	(1)	(0)	(0)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(9)
関係施設等 訪問	件	2	0	1	0	2	0	0	1	0	1	0	2	9
		(0)	(0)	(2)	(7)	(6)	(2)	(2)	(3)	(0)	(1)	(0)	(0)	(23)
計		0	0	4	10	7	2	2	5	1	1	0	0	32

(4) その他

①事故件数

ア. 行動援護事業・横浜市移動支援事業（ケアステーション心海）

() 前年度実績

ヘルパー派遣ミス	誤与薬・怠薬	利用者金銭紛失
0(0)	1(0)	1(0)

イ. 共同生活援助事業

() 前年度実績

①転倒		②外傷		③誤与薬・怠薬		④新型コロナ				⑤その他		
通院 あり	様子 観察	通院 あり	様子 観察	怠薬	誤与薬	陽性		濃厚 接触		入院	破損	紛失
1(1)	0(1)	0(1)	0(0)	3(6)	1(2)	職員	利用者	職員	利用者	2(3)	1(0)	1(0)
1(2)		0(1)		4(8)		4	2	8	8			

※事故件数は8件で、誤与薬、怠薬が半数であった。

服薬マニュアルの再確認を全体で行い、再発防止に努めた。

※新型コロナウイルス関係では、感染者が6名、濃厚接触者が16名であった。

②苦情解決 (地域支援センター全体)

・苦情件数 2 件（令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日）

・苦情内容

苦情の内容	3 年度	2 年度
① 虐待・放置・脅迫・詐欺に關すること		
② サービス・支援内容に關すること	1 件	2 件
③ 個人の嗜好・選別に關すること	1 件	
④ 利用者の所持金に關すること		
⑤ その他		
合計	2 件	2 件

令和3年度 釜利谷地域ケアプラザ事業報告

概説

令和3年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策に重点を置きながら、各事業を推進してきました。年間を通して利用者、職員共に陽性者・濃厚接触者の発生は数名ありましたが、施設内部での感染拡大はなく収束しています。

デイサービスでは感染拡大はなかったものの、自宅待機者が続いたことも影響し、思うように利用者増につながらず、経営状況については大変厳しい結果となりました。しかし、日々のプログラムについては、コロナ禍でも楽しめる活動を工夫し、取り入れながら、次年度につなげていけるよう努めました。

また、利用者の方を介護する場面では、身体介護に活用できる介護ロボットHUG(ハグ)の導入を進めました。適切に使用することで、身体機能が低下した方の介護をより安全に行える体制としています。

地域の様々な活動もコロナ禍前に戻ることは厳しかった年ですが、地域でそれぞれ工夫しながら再開した活動を把握し、ミニ講座の開催等、地域ケアプラザとして支援できる提案を継続してきました。

災害対策としては、職員の緊急連絡網に代わる安否確認システムの導入に向け、トライアル期間を設けながら柳町地域ケアプラザと共に検討しました。

1 重点項目

(1) 地域活動・交流事業

コロナ禍においても、安心して施設を利用していただけるよう感染防止対策の徹底を図りました。日々の生活でも様々な配慮・活動の工夫が必要となりましたが、地域の方の活動が途切れることなく継続していけるよう支援に努めました。また、本来の地域ケアプラザの役割を意識し、地域に暮らす全ての人が、“自分らしく暮らせる、支えあって暮らせる”地域づくりを、地域ケアプラザ内各部署と連携して取り組みました。

今年度は、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業と共催で「ヤングケアラー」及び「お金のはなし(ファイナンシャルプラン)」の講演会を開催しました。さらに、様々な媒体を利用した情報発信を行い、地域の方の日常生活における身近な安全や安心の向上にも努めています。

自主事業開催数	156回(前年度比 40回増)	延べ1,865人(前年度比 963人増)
貸館状況	1,555件(前年度比 668件増)	延べ7,281人(前年度比 2,393人増)

(2) 地域包括支援センター事業

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響でまん延防止措置期間、解除された期間の繰り返しでしたが、感染防止に留意しながら総合相談及び各事業を実施しました。状況により中止した事業もありましたが、感染対策を講じた中で開催した事業も多くあり、地域の参加者からは顔を合わせて話が出来る貴重な機会として好評でした。

総合相談件数

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和3年度	1,513	392	218	2,123
令和2年度	1,389	321	221	1,931
増減	124	71	△3	192

(3) 生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター業務)

高齢者が住み慣れた地域で役割や生きがいを持ち、自分らしい生活を送ることが出来るよう、地域の助け合いや社会参加による介護予防を地域住民と関係機関の職員で取り組んできました。新型コロナウイルス感染の影響があり地域の活動再開はゆっくりですが、出来ることから再開し始めた団体もあり、コーディネーターが参加することで改めて係わりを深めています。また、把握した釜利谷エリアの地域活動に関する情報をまとめ、横浜市が推進している情報ソフトへの情報集約を行い、今後に活かせるようにしました。

(4) 指定居宅介護支援事業(介護予防・総合事業を含む)

早期の退院や在宅での看取りなど医療ニーズの高い利用者の相談対応を積極的に行い、各種サービス事業所をはじめ、地域包括支援センターや地域活動交流、行政、病院等とも密接に連携して多職種で在宅生活を支えるチーム作りを行い、支援しました。

新型コロナウイルスの影響でサービス事業所が閉鎖となり、サービスが受けられない利用者や、外出や活動を控えて引きこもりがちになっている利用者に対してこまめに連絡を行い、訪問介護や訪問リハビリなどの訪問系サービスに切り替えるよう提案をするなど生活に困ることがないように支援を行いました。

【居宅介護支援事業の状況】

●一人当たりの担当件数の上限は介護・予防合わせて39件 ●1か月あたりの上限件数は 148件

介護ケアプラン作成数 (要介護1～5)	1,382件 (前年度比 24件減)
介護予防ケアプラン作成数(要支援1～2)	428件 (前年度比 82件増)

(5) デイサービス事業

釜利谷地域ケアプラザ通所介護事業では総利用者数が9,094名で前年度比112名の増加となりました。しかし経営的には大変厳しい状況です。新型コロナウイルスの影響はありましたが、感染防止対策の継続と並行しながら、デイサービスで楽しんでいただけの工夫を職員で様々なアイデア出し合い、取り組んできました。

認知症対応型通所介護「やまゆり」では、前年度よりも26人減少となりました。新規利用者よりも終了者の人数が多かったことやショーステイや入院等でのキャンセルが多かったことが影響しています。

日々の活動については、変わらずゆったり落ち着いた雰囲気大切に、落ち着いて過ごしていただける環境づくりを心掛けました。

	延べ利用者数	前年度比	定員/日	平均利用者/日
通所介護事業	9,094人	112人増	40人	25人
認知症対応型やまゆり	2,876人	26人減	12人	9.2人

2 令和3年度事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表（含むやまゆり）

(単位円)

	令和3年度	令和2年度	増減	備考
介護保険事業収益	222,720,438	233,747,830	△ 11,027,392	R2年度 コロナ補助金、給付費の増額
サービス活動収益計(1)	222,720,438	233,847,830	△ 11,127,392	R3年度 不在人件費の返戻あり
人件費	179,688,432	182,487,828	△ 2,799,396	保健師、生活支援コーディネーターの補充不足
事業費	30,461,808	28,108,385	2,353,423	送迎車両リース費用増等
事務費	28,743,957	27,673,873	1,070,084	
減価償却費	1,923,384	1,865,088	58,296	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 96,110	△ 19,112	△ 76,998	
サービス活動費用計(2)	240,721,471	240,116,062	605,409	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 18,001,033	△ 6,268,232	△ 11,732,801	
サービス活動外収益計(4)	3,042,094	3,800,994	△ 758,900	
サービス活動外費用計(5)	1,122,950	1,228,800	△ 105,850	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,919,144	2,572,194	△ 653,050	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 16,081,889	△ 3,696,038	△ 12,385,851	

<資料編>

1 事業別報告

(1) 地域活動交流事業

コロナ禍においても、安心して施設利用をしていただけるよう感染防止対策の徹底を図るとともに、新型コロナウイルスの流行により「新しい生活様式」が求められる中で、地域の方の活動が途切れることなく継続していけるような支援に努めました。また、コロナ流行以前と変わらないケアプラザ事業の展開を意識し、地域に暮らす全ての人が、“自分らしく暮らせる、支えあって暮らせる”地域づくりを、地域ケアプラザ内各部署と連携して取り組みました。令和3年度は、地域包括支援センターと生活支援体制整備事業と共催で「ヤングケアラー」と「お金のはなし（ファイナンシャルプラン）」の講演会を開催しました。さらに、様々な媒体を利用した情報発信を行い、地域の方の日常生活における身近な安全や安心の確保にも努めました。

※実施状況は別紙

(2) 地域包括支援センター事業

① 総合相談支援事業

ア 総合相談件数

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和3年度	1,513	392	218	2,123
令和2年度	1,389	321	221	1,931
増減	124	71	△3	192

イ 総合相談内容の内訳（電話・来所の主な内容）内訳

	令和3年度	令和2年度	増減		令和3年度	令和2年度	増減
介護保険	1,633	1,545	88	医療（※認知症以外）	269	165	104
介護予防事業	22	8	14	施設入所・入院	209	106	103
行政サービス	21	35	△14	日常生活課題	252	187	65
インフォーマルサービス	103	72	31	苦情	19	20	△1
その他制度・サービス等	108		108	成年後見制度・消費者保護	111	83	28
認知症（BPSD）	244	192	52	虐待	42	41	1
認知症（医療）	142	94	48	その他	273	766	△493
介護（※認知症以外）	137	63	74	合計	3,585	3,377	208

② 権利擁護事業

ア 権利擁護に関する相談 153件（延べ件数）

・成年後見制度に関する相談

（本人家族やケアマネジャーに対して制度説明、専門職につなげる、後見人がつくまでの対応、後見人がついたあとのフォロー、任意後見について説明等）

・消費者被害に関する相談（特殊詐欺・リフォーム詐欺等の相談・警察への通報等）

・高齢者虐待相談対応（本人、親族、ケアマネジャー、事業所からの報告に基づき、訪問確認や区への通報等）

イ 権利擁護事業等に関する業務

・区主催の成年後見サポートネットワーク事業に参加

・区主催の高齢者虐待防止連絡会（年1回）はコロナのため中止

・成年後見制度、高齢者虐待防止、消費者被害防止のチラシ・リーフレットを配布、ケアプラザ内に掲示し呼びかけ

・各出張講座等で成年後見制度の説明・独自で作成したチラシの配布

<自主事業>

・成年後見制度について…「行政書士による無料個別相談会」を開催。

・消費者被害防止について（地域活動交流共催）…

「くらしの教室」は、コロナの関係で町内会に出張することを自粛。

「あんしんして暮らすための10分講座」は、ミニ講座17回実施。

「ちょっとおじゃまします」は、町内サロンにてミニ講座を3回実施。

・高齢者虐待防止について…「民生委員児童委員とケアマネジャーの情報交換会」に

て、事例を通して高齢者虐待の基礎知識、早期発見、対応方法等について研修を実施予定していたが、コロナの影響（まん延防止期間だった）ため中止。

- ・介護者のつどい…年6回実施。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ア 担当エリア内のケアマネジャーからの相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	32	53	28	34	14	17	18	11	11	16	20	27	281
令和2年度	20	17	34	12	22	10	40	39	43	21	13	22	293
増減	12	36	△6	22	△8	7	△22	△28	△32	△5	7	5	△12

イ 事業等取り組みについて

- ・金沢区薬剤師会と包括主任ケアマネ部会、区役所、在宅医療連携室共催で「薬剤師とケアマネジャーの情報交換会」ZOOMを使用しWeb形式で開催した。
 - ・「8050」問題の個別地域ケア会議を2回、包括レベル地域ケア会議を1回開催し、相談が多岐にわたる時の窓口リストの必要性等情報共有ができた。
 - ・金沢区内の新任ケアマネジャー対象に区主任ケアマネ部会として研修企画をしたがコロナの影響で中止。
 - ・金沢区南部「5地域包括支援センター」の主任ケアマネ共催で、事例検討会を1回開催した。ケアマネジャーの質の向上とケアマネ同士の情報交換の場「サロン南風」は2回開催予定だったが中止となった。
 - ・地域密着型サービス運営推進会議の定期的な開催が必要とされる13施設は、会議中止や書面報告とし、必要に応じて包括から情報提供を実施。
 - ・民生委員児童員とケアマネジャーとの情報交換会はコロナ対策を徹底し1回開催。2回目はコロナの影響のため中止した。
- 地域の情報交換や地域資源の情報提供など、ネットワーク構築が図れた。

④ 介護予防ケアマネジメント事業

ア 介護予防普及啓発事業（65歳以上のすべての高齢者）への取り組み

- ・区と共催でオンライン配信「尿失禁予防講座」「ケア・ウォーキング講座」を実施。
- ・区と共催で「公園コグニサイズ」を実施。
- ・「ケア・ウォーキング実践講座」を実施。
- ・「健康講座（貯筋運動、口腔、栄養編）全2日」を実施。
- ・「認知症予防講演会」を地区センターで実施。

イ 地域介護予防活動支援事業への取り組み

- ・元気づくりステーション「阿王ヶ台スマイル」「釜利谷太極拳」を区役所とともに支援。
- ・シニアクラブ定例会に出席し、介護予防に関する情報提供を行う。
- ・地域のサロンでミニ介護予防講座を実施。

ウ その他

- ・広報誌やまなみや SNS 等でロコモ予防について掲載。

⑤ 介護予防支援事業

ア 包括支援センター担当件数(給付管理票作成件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	87	87	86	87	85	87	89	90	88	89	87	88	1,050
令和2年度	76	79	81	87	90	89	93	91	95	92	94	93	1,060
増減	11	8	5	0	△5	△2	△4	△1	△7	△3	△6	△5	△10

※ 包括支援センター担当件数とは、包括支援センターでケアプラン作成した件数

イ 委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	185	190	194	201	202	203	205	216	213	215	208	209	2,441
令和2年度	167	176	175	179	188	187	186	191	203	201	203	206	2,262
増減	18	14	19	22	14	16	19	25	10	14	5	3	179

※ 委託件数とは、包括支援センター以外の居宅介護支援事業所に委託契約を行い、介護支援専門員がケアプラン作成した件数。

⑥ 認知症関連事業

- ・認知症サポーター養成講座（地域活動交流・生活支援体制整備事業共催）…
保健活動推進員向け、在宅ナースの会、関東学院大学（西金沢 CP 共催）で開催。
今年度初めて釜利谷認知症キャラバン・メイト交流会主催で開催。また、包括エリア内の「釜利谷認知症キャラバン・メイト交流会」を1回開催し、情報交換や日頃の悩みの話し合いを実施。
- ・かまりやサロン…認知症の人と家族が共に安心して過ごせる居場所（認知症カフェ）、家族の交流場として釜利谷地域ケアプラザにて月1回ペースで継続実施。今年度11回開催し、毎回10名前後の参加がある。

⑦ その他

- ・今年度から「パーキンソン病交流会」が西金沢 CP と区共催になり、年3回開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染予防のため2回の開催となった。
- ・「エンディングノートの使い方&医療・ケアについての「もしも手帳」について」（地域活動交流・生活支援体制整備事業共催）の講演会を実施。

(3) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

① 地域との関係性の構築

- ・新型コロナウイルス感染予防のため中止となっているサロンが多い中、再開したサロンには感染予防を徹底しながら少しでも顔を出し、地域の方との関係性の構築に努めました。
- ・生活支援体制整備事業情報紙「つながろう!」を創刊しました。紙面を通じて、コロナ禍において感染予防対策を工夫しながら取り組みを継続した例を紹介しました。

- ・シニアクラブ釜利谷第一支部友愛部会の定例会に出席し、西金沢地域ケアプラザの生活支援コーディネーターと共に活動の支援を行いました。

② 各主体間のネットワークの構築

- ・ICTを活用した「釜利谷にしProject」を定期的開催し、課題の拾い上げと解決にむけての話し合いを zoom で行いました。

③ 資源開発等

- ・サロンが開催できない中、屋外で活動可能な「ラジオ体操」に切り替えた地域の活動支援
- ・生活支援・介護予防に関する啓蒙・啓発
- ・シニア世代に向けた「セカンドキャリアライフ」「シニアボランティアポイント登録会」を地域活動交流コーディネーターと共に企画しましたがコロナウイルス感染防止のため中止となりました。
- ・「釜利谷みんなのお買い物情報」の更新及び地域の民生委員やケアマネジャーへ配布（地域包括支援センターとの共催）
- ・「3rd Place」（サード プレイス：好きなことで緩やかに繋がる仲間づくり）を Zoom を利用し定期的開催し、コロナ禍においても社会参加や介護予防に向けて繋がりが途切れないように図った。

（４） 居宅介護支援事業

① 介護・予防・総合事業計画（ケアプラン）作成とケアマネジメント

「利用者・家族まるごと支援のケアプラン」を心掛けました。在宅介護を一日でも長く続けていくために家族の負担軽減も重視し、介護に対する不安などの相談に乗り孤独な介護にならないよう親身になって相談対応を行いました。家族の立場に立ち「介護離職させない」ための取り組みも視野に入れて活動しました。

② 医療ニーズの高い方の支援と地域包括支援センターなどとの協働

心不全や癌末期の方など医療ニーズの高い利用者を多く受け入れました。人生の最期を自宅で過ごすことを望まれる方が多く、手厚い支援を行いました。また地域包括支援センター、区役所等との協働が必要なケースも積極的に受け入れ、地域ケアプラザのケアマネジャーならではの地域に密着した活動を行いました。

③ 特定事業所としての取り組み

今年度も常勤職員 4 名を配置し特定事業所加算Ⅱの算定を継続しました。

（ア）24 時間の連絡体制

専用の携帯電話を所持することで 24 時間相談に対応できる体制を作りました。

（イ）週 1 回以上のケアマネ会議の実施

会議の中で全員の担当ケースを共有することで、担当者不在時も迅速に対応できるようにしました。また、支援の難しいケースについては随時検討会議を行い、担当ケアマネジャー個人だけではなく事業所全体で考える体制をつくり、より公平で質の高いケアマネジメントを行えるようにしました。

(ウ) 外部研修や勉強会への積極的な参加と内部研修

各ケアマネジャーがさまざまな勉強会や研修に参加することで、知識だけではなく地域や多職種との連携も深め、地域の生きた情報を収集しました。またその研修内容を用いて内部研修や報告書の回覧などを行い共有することで、各ケアマネジャーの知識レベルの差を少なくし、事業所全体の資質の向上に役立てました。

④ 金沢区全体のケアマネジャーに対する資質向上に向けた取り組み

(ア) 金沢区の介護支援専門員連絡会の役員として活動を行い、区内ケアマネジャー向けの研修や勉強会の企画・運営を行い、事業所の垣根を越えて相談しあえる環境を作りました。また行政や在宅医療相談室が主催する「金沢区医療・福祉合同研修」の企画・運営に協力するなど区内の医療・福祉団体が連携するための取り組みを行いました。

(イ) 横浜市介護支援専門員連絡協議会に役員として介護保険制度改正や市の取り組みなどについての情報共有や健康福祉局、医療局の職員の方と直接意見交換などを行い、介護現場の意見を横浜市に直接伝えることができ、そこで得た情報を地域に下ろすことでケアマネジャー業務の円滑化を支援することができました。

介護ケアプラン作成数（要介護1～要介護5判定の方）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	113	111	111	116	111	113	112	115	120	120	120	120	1,382
令和2年度	118	121	120	119	119	119	117	117	116	117	110	113	1,406
増減	△5	△10	△9	△3	△8	△6	△5	△2	4	3	10	7	△24

介護予防ケアプラン作成数（要支援1～要支援2判定の方）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	31	33	33	34	35	31	33	39	41	41	40	37	428
令和2年度	26	26	26	28	31	30	30	29	29	29	31	31	346
増減	5	7	7	6	4	1	3	10	12	12	9	6	82

※ 現在の常勤換算では一か月あたり148件が上限

※ 特定事業所加算Ⅱ（1件あたり4,446円）は介護ケアプランのみ算定できる。

金沢区等委託契約による介護認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	11	17	7	12	13	14	9	14	9	16	11	13	146
令和2年度	8	5	8	3	10	8	9	6	10	10	11	3	91
増減	3	12	△1	9	3	6	0	8	△1	6	0	10	55

※要介護認定期間が最長4年に延長されたことで調査件数は年によってばらつきがあります。今年は多い年でした。

(5) デイサービス事業

(指定通所介護事業、横浜市通所介護相当サービス)

新型コロナウイルス陽性者の判明により濃厚接触の有無を確認するため 1 日休業しましたが、濃厚接触者にあたる者は利用者・職員共になく、翌日より営業再開することができました。その他にも利用者・職員共に濃厚接触者となり自宅待機となったりすることがありましたが、デイサービス内で拡大することはなく無事に 1 年を過ごすことができました。

令和 3 年度内に 2 名が 100 歳を迎えました。コロナ禍ではありましたが、予防対策を講じた中でそれぞれの誕生月に合わせ、百寿のお祝い会を開くことができました。

- ① 営業日 358 日 休業日 8 月 12 日 (コロナ休業) 12 月 29 日～1 月 3 日 計 7 日
- ② 利用者数 通所介護相当サービス利用者数 年間 750 名
通所介護利用者数 年間 8,344 名
- ③ 加算 入浴介助加算、個別機能訓練加算 I (イ)、運動器機能向上グループ加算
サービス提供体制強化加算 (I)、介護職員処遇改善加算 (I)、介護職員特定処遇
改善加算 (I)
- ④ サービス内容

ア 教室・サークル活動

新型コロナウイルス感染防止を行いながら、太極拳、珈琲サークル、朗読、アロマ、脳活 (計算)、散歩をしました。

イ 生活機能向上活動

ご利用者の生活機能向上を目的として「洗濯物干し・洗濯物たたみ」などの日常生活上の活動を取り入れ職員サポートしながら実施しました。

ウ 行事

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、イベントを例年より縮小して敬老会・クリスマス会・利用者大忘年会を実施し気持ちが明るくなれる行事としました。年末最終日の「利用者大忘年会」は、利用者紅白歌合戦、職員の余興 (演奏・ダンス等) で 1 年を締めくくりました。

エ 食事

外出自粛が続いていたので、世界各地の食事を提供しました。イベント食の日には、トレーにランチョンマットを敷いて雰囲気を出し、利用者に満足頂ける食事の提供に努めました。

④ 通所介護事業・介護度別利用状況（令和 3.4月～令和 4.4月） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援1	12	5	4	5	4	4	5	2	8	10	11	11	81	202	△ 121
要支援2	41	46	55	54	52	60	75	70	60	41	51	64	669	652	17
要介護1	275	260	230	230	212	224	276	286	273	247	221	233	2,967	2,435	532
要介護2	252	241	214	237	207	249	237	225	205	194	175	240	2,676	2,503	173
要介護3	155	142	151	173	169	177	184	172	152	151	145	168	1,939	2,276	△ 337
要介護4	42	45	44	38	44	33	33	31	40	38	41	81	510	482	28
要介護5	41	44	29	24	15	17	10	9	16	16	11	20	252	432	△ 180
総数	818	783	727	761	703	764	820	795	754	697	655	817	9,094	8,982	112
実施日数	30	31	30	31	30	30	31	30	28	28	28	31	358	358	0
平均利用者数/日	27	25	24	25	23	25	26	27	27	25	23	26	25	25	0

（認知症対応型通所介護 「やまゆり」）

ご利用希望があった際に積極的に見学をしていただくことで、ゆったりとした雰囲気を感じ取っていただき、安心して利用を開始できるように努めました。

新型コロナウイルスの影響はご家族様のご理解、ご協力のもと大きな影響はなく通所されましたが、新規ご利用者様の相談件数、契約人数が例年の半減となり年間利用者数は減少となってしまいました。事業所内では、定期的な消毒、利用前の検温等の感染症対策、環境整備に努めました。

① 営業日 311日 休業日 日曜日及び12月31日～1月3日（4日間）

② 利用者数 年間 2,876名

③ サービス内容

ア 活動

感染症拡大防止の為、レクリエーションの見直し、屋外活動の自粛などをいたしました。

少人数制のプログラムを多く取り入れるなど、3密を防ぐ取り組みを行いました。

イ 運営推進会議

感染症拡大防止の為、書面開催としました。

ウ 機能訓練

例年機能訓練として屋外機能訓練や季節の行事による工作活動などのプログラムを実施していましたが、感染症拡大予防の為自粛いたしました。

エ 食事

本年度は屋外活動や季節の行事が中止となった為、季節を感じられる食事のメニューを多く取り入れ、コロナ渦でも利用された皆様に楽しんでいただける工夫を行いました。

○やまゆり介護度別利用状況（令和３年度４月～令和４.３月） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要介護１	50	51	38	44	51	46	54	66	59	59	60	48	626	728	△ 102
要介護２	23	20	22	19	15	18	25	27	27	22	24	18	260	323	△ 63
要介護３	144	149	137	139	118	105	98	110	109	109	102	116	1436	1130	306
要介護４	26	30	31	29	17	8	11	11	11	11	5	15	205	340	△ 135
要介護５	32	28	25	31	27	29	33	29	31	27	23	34	349	381	△ 32
総数	275	278	253	262	228	206	221	243	237	228	214	231	2876	2902	△ 26
実施日数	26	26	26	27	26	26	27	26	26	24	24	27	311	310	1
平均利用者数/日	11	11	10	10	9	8	8	9	9	10	9	9	9	9	△ 0

２ 職員研修

ケアプラザ内部研修

研修名	参加延べ人数
個人情報漏洩事故防止研修	15 名
車いすの階段昇降研修	33 名
最新の福祉用具研修	15 名
A L S 研修	28 名
在宅で平穏な最期を叶えるために（ACP 研修）	34 名
感染症対策向上の為に研修（５回シリーズ）	65 名
虐待防止研修	65 名

外部研修

研修名	参加延べ人数
各職種専門研修	延べ 22 名

３ 苦情解決

苦情の内容	令和３年度	令和２年度
① 虐待・放置・脅迫・搾取に関する事	０件	０件
② サービス・支援内容に関する事	２件	０件
③ 個人の嗜好・選択に関する事	０件	０件
④ 利用者の所持金に関する事	０件	０件
⑤ その他	０件	０件
合計	２件	０件

地域活動交流

ア) 地域支えあい連絡会の開催

	開催数	参加人数	テーマ・内容詳細等
令和 3 年度（連絡会）	3	58	情報交換
令和 2 年度（連絡会）	2	47	情報交換

イ) 広報紙及びチラシの発行

	広報紙		チラシ		配布先
令和 3 年度	4 回	6000 枚	7 回	10500 枚	各町内会・関連機関に配布
令和 2 年度	4 回	6000 枚	7 回	10500 枚	

ウ) 貸館利用状況

件数 (単位: 件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3 合計	R2 合計	前 年 比
多目的	午 前	17	18	14	21	13	15	16	18	16	13	11	14	558	433	125
	午後1	16	20	22	22	17	20	21	22	19	15	16	21			
	午後2	10	11	12	15	10	14	12	14	10	8	11	14			
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
調理室	午 前	10	10	10	13	11	9	13	11	11	9	7	11	328	252	76
	午後1	11	11	14	12	14	12	16	13	12	10	10	14			
	午後2	3	4	5	3	4	6	6	7	3	3	3	7			
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ボラ	午 前	7	12	12	11	10	9	14	11	13	8	8	12	321	202	119
	午後1	9	13	10	9	8	6	12	11	10	9	8	13			
	午後2	7	6	7	7	3	2	8	7	6	8	4	11			
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合 計		90	105	106	113	90	93	118	114	100	83	78	117	1207	887	320

稼働率 (単位: %)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3 平均	R2 平均	前 年 比
多目的	午 前	59	60	48	70	43	52	53	62	59	46	41	47	53	47	6
	午後1	55	67	76	73	57	69	70	76	70	54	59	70	66	52	14
	午後2	34	37	41	50	33	48	40	48	37	29	41	47	40	40	0
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理室	午 前	34	33	34	43	37	31	43	38	41	32	26	37	36	23	13
	午後1	38	37	48	40	47	41	53	45	44	36	37	47	43	35	8
	午後2	10	13	17	10	13	21	20	24	11	11	11	23	15	22	-7
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボラ	午 前	24	40	41	37	33	31	47	38	48	29	30	40	36	15	21
	午後1	31	43	34	30	27	21	40	38	37	32	30	43	34	15	19
	午後2	24	20	24	23	10	7	27	24	22	29	15	37	22	12	10
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 多目的：多目的ホール ボラ：ボランティアルーム

利用人数 (単位: 人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3 合計	R2 合計	前 年 比
		558	605	628	808	503	487	673	744	680	495	465	635	7281	4888	2393

			開催数	延参加者数	主な内容
地域活動交流	中高年	令和 3	32	333	LINE 講座、手芸サロン、体操教室 歌、脳トレ体操
		令和 2	29	294	
		前年比	3	39	
	子ども・養育者	令和 3	36	538	親子体操、おはなし会
		令和 2	28	176	
		前年比	8	362	
	障がい児者	令和 3	14	106	英語、スノードーム作り、心魂パフォーマンス
		令和 2	10	46	
		前年比	4	60	
	多世代交流	令和 3	6	101	プラレール広場
		令和 2	4	39	
		前年比	2	62	
地域交流	令和 3	15	139	歴史講座、カレンダー作り、 クリスマスドーム作り、ゴスペル教室	
	令和 2	11	84		
	前年比	4	55		
地域包括支援センター	介護者支援	令和 3	6	1	介護者のつどい
		令和 2	3	5	
		前年比	3	-4	
	難病支援	令和 3	2	73	パーキンソン病交流会
		令和 2	1	9	
		前年比	1	64	
	地域連携	令和 3	5	44	地域ケア会議、民生・ケアマネ情報交流会
		令和 2	6	76	
		前年比	-1	-32	
	権利擁護	令和 3	1	8	無料個別相談会
		令和 2	1	2	
		前年比	0	6	
講演会等	令和 3	3	23	ケアウォーキング、コグニサイズ 「尿失禁予防」講座	
	令和 2	0	0		
	前年比	3	23		
地域交流・地域包括・生活支援共催	認知症	令和 3	17	213	認知症サロン、認知症サポーター養成講座、 キャラバンメイト交流会
		令和 2	8	124	
		前年比	9	89	
	福祉保健・暮らし	令和 3	23	277	講演会「ヤングケアラー」、講演会「お金の話」 エンディングノート説明会、消費者被害啓発
		令和 2	5	41	
		前年比	18	236	
	その他	車椅子の貸し出し、広報紙・チラシ作成、かまもりホルダー登録受付			

令和3年度 柳町地域ケアプラザ事業報告

概説

新型コロナウイルス感染症が拡大し2年が経過する中、期待される地域ケアプラザとしての役割が果たせるよう、感染防止対策を講じながら、各事業を推進してきました。

コロナ禍の中では、地域の自主活動継続に様々な課題が見られました。後方支援を行うとともに、交流する場の提供・維持に努めてきたところです。また、感染防止の三密を避ける意味でもインターネット活用の有用性を確認する機会となりました。

デイサービスでは、季節感をふんだんに取り入れたイベント、個別活動等楽しめるプログラムを企画・実施し、コロナ禍で一定期間休まれる方もいましたが、延べ利用者数は、通所介護9000人超、認知症通所介護2800人超と利用増となりました。

なお、令和3年6月下旬からは、定期的に職員を対象としたPCR検査（日本財団による無料検査）を実施し、感染者の早期発見に努めたことで、事業所内の感染拡大防止に一定の成果がありました。

また、災害対策として職員の緊急連絡網に代わる安否確認システムの導入に向け、釜利谷地域ケアプラザと協働でトライアルを行いました。次年度からの実施に向け準備を進めています。

1 重点項目の実施状況

(1) 地域活動・交流事業

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発出された間も、横浜市の指示のもと、利用定員を半減するなど、条件を設けながら貸館業務を実施しました。換気、消毒等の感染防止対策を徹底することで大きな混乱はなく継続することができています。

地域の方からスマートフォンについて「もっと習いたい」という声が聞かれたため、生活支援体制整備事業と共催で「スマートフォン講座」を3回実施しました。この講座の要望は多くあるため、次年度開催に向け準備を進めていきます。

自主事業では、おしゃべりカフェ、障害児・者余暇支援等、部屋の変更や内容を一部変更しながら継続開催しました。また、地域で交流する場（サロン）の後方支援を行いました。

(令和3年)

自主事業開催数	74回（前年度比20回増）	延べ649人（前年度比239人増）
貸館状況	761件（前年度比193件増）	延べ4,033人（前年度比1,244人増）

(2) 地域包括支援センター事業

新型コロナウイルスの感染状況や地域の活動状況を確認しながら、地域に出向いて介護予防講座の開催、エンディングノートの配布等を行いました。また、地域活動交流コー

ディネーター、生活支援コーディネーターと連携し、地域活動への後方支援や再開に関して意見交換・情報共有し、レコード鑑賞会等の活動のサポートを行いました。

令和2年度に金沢区役所・生活支援課と協働で作成した「引きこもりに関する動画」についてケアマネジャー向けサロンで上映し、8050問題について考えを深める機会を持ちました。

【総合相談件数】

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和3年度	909 件	233 件	106 件	1,248 件
令和2年度	752 件	226 件	79 件	1,057 件
増減	157 件	7 件	27 件	191 件

(3) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度同様、地域での行事、サークル活動、ボランティア活動等、多くの活動が中止となりましたが、地域活動を続ける団体に対しては、地域ケアプラザ内で協働しながら支援を実施しました。

また、六浦地域ケアプラザとの共催で居場所づくり「サードプレイス」を継続しました。

オンラインの活用により、これまでとは違った新しい様式で、コミュニケーションを活性化させることができました。定年後に居場所を求めている地域の方の中から、地域活動への参加、リーダーになり得る人材発掘に繋げることができました。

(4) 指定居宅介護支援事業（介護予防・総合事業含む）

今年度は、介護保険事業指定の書類を作成し指定更新の手続きを行いました。令和2年度に中止が多かった研修等は再開され、オンラインを活用しながら他法人との合同研修や事例検討、区役所主催の研修等に積極的に参加しました。

訪問については、事業所側から自粛することはせず、事前にご家族に連絡相談しながら、ほぼ毎月定期訪問を実施することができました。虐待の疑いのある家庭に対しては、包括支援センターや区役所、関係機関と連携しながら対応を行いました。

【居宅介護支援事業の状況】

（令和3年）

●一人当たりの担当件数の上限は介護・予防合わせて39件 ●1 か月あたりの上限件数は 148件

介護ケアプラン作成数（要介護1～5）	1,211 件 （前年度比 △67 件）
介護予防ケアプラン作成数（要支援1～2）	328 件 （前年度比 △2 件）

(5) デイサービス事業（指定通所介護事業・認知症対応型通所介護事業）

新型コロナウイルス感染症防止対策を継続的に講じながら、安全に安心して利用できるように努めました。職員向けにPCR検査を定期的実施し、感染者の早期発見に努めました。職員の無症状での感染や家族からの感染等の発見につながり、クラスターとなることなく事業を継続することができました。

また、ご利用者には、デイサービスの現状について電話や書面等で事前に連絡し、状況を把握していただいた上で、利用していただきました。コロナの感染状況が心配になり、一定期間休まれる方もありましたが、個別の活動やイベント等を積極的に提供する事で充実した時間を過ごしていただけるよう努めました。結果として、通所介護、認知症通所介護ともに、令和2年度に比べ、延べ利用者数、平均利用者数は増加しています。

デイサービス職員会議において、動画視聴にて専門的な知識技術を向上させるための研修を取り入れました。

(令和3年度)

	延べ利用者数	前年度比	定員/日	平均利用者/日
通所介護事業	9,480 人	525 人増	30 人	26.4 人
認知症対応型かがやき	2,838 人	175 人増	10 人	7.9 人

2. 令和3年度 事業活動収支決算概要

(単位：円)

	令和3年度	令和2年度	増減	備考
介護保険事業収益	207,283,242	206,372,128	911,114	利用者増
経常経費寄付金収益	0	0	0	
サービス活動収益計(1)	207,283,242	206,372,128	911,114	
人件費	150,080,511	152,281,005	△ 2,200,494	職員欠員、主任ケアマネジャーの退職等
事業費	20,973,102	21,041,715	△ 68,613	市からの補助による衛生用品購入減
事務費	29,695,257	30,346,830	△ 651,573	修繕費の減少
減価償却費	8,649,028	8,612,736	36,292	
国庫補助金取崩額	△ 6,358,523	△ 6,344,248	△ 14,275	
サービス活動費用計(2)	203,039,375	205,938,038	△ 2,898,663	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,243,867	434,090	3,809,777	
サービス活動外収益計(4)	1,263,063	1,015,007	248,056	
サービス活動外費用計(5)	601,920	648,600	△ 46,680	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	661,143	366,407	294,736	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	4,905,010	800,497	4,104,513	

<資料編>

1 事業別報告

(1) 地域活動・交流事業

コロナ禍においてどのような工夫により事業が開催できるかを検討し実施しました。

「おしゃべりカフェ」では、ペットボトルのお茶を提供し、終了後にお菓子を持ち帰りいただくようにしました。

「金沢区の歴史を学ぶ会」は昨年同様、多目的ホールで開催することで定員を増員しました。広報紙で2名の追加募集し6名の応募がありました。

小学生対象の「夏休み企画」では、他の事業で講師をお願いしている手芸や工作を企画に取り入れ、夏休みの期間に2回開催しました。

地域の活動では、六浦地区の防災訓練、レコード鑑賞会、蚊の駆除作業、六浦東地区の社明大会、もりのお茶の間イベント等が実施され、地域包括支援センター事業、生活支援体制整備事業担当者とともに参加しました。

※ 実施状況は別紙参照

(2) 地域包括支援センター事業

昨年度に引き続き、状況確認、感染防止対策を講じながら事業を実施しました。

介護予防講座は、地域ケアプラザだけではなく、地域からの要望に応じて町内会館に出向いて開催し、閉じこもりがちな状況の中でも活動していく必要性の周知を図りました。介護者のつどいでは、オンラインを活用した施設見学を実施しました。ケアプラザで参加される方とご自宅での参加がありました。

今年度は、ダブルケアラー・ヤングケアラーについての講演会の開催を予定していましたが、感染拡大防止のため、次年度に延期としました。

また、地域から孤立していると思われる方についてどのように対応していくかを探るため、5職種共催で民生委員・児童委員にアンケートを実施しました。令和4年度に集計・分析を行い、結果を返す予定です。

① 総合相談支援事業（電話・来客の主な内容）

【総合相談件数】

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和3年度	909件	233件	106件	1,248件
令和2年度	752件	226件	79件	1,057件
増減	157件	7件	27件	191件

【総合相談内容の内訳（電話・来所の主な内容）】

単位：件

	令和3年度	令和2年度		令和3年度	令和2年度
介護保険	774	588	介護（※認知症以外）	38	55
介護予防事業	14	7	医療（※認知症以外）	93	72
行政サービス	8	11	施設入所・入院	51	35
インフォーマルサービス	73	46	日常生活課題	168	163
その他制度・サービス等	22		苦情	3	10
認知症（BPSD）	65	69	成年後見制度・消費者保護	43	20
認知症（医療）	36	31	虐待	10	16
			その他	271	637
			合計	1,669	1,760

（相談内容が複数にわたる場合があり、内訳数は相談・訪問件数を上回る）

② 権利擁護事業

ア 権利擁護に関する個別相談 53件（延べ件数）

- ・後見制度に関する相談（親族申立や任意後見、相続に関するもの）
- ・虐待に関する相談（身体的虐待・経済的虐待・虐待疑いを含む）
- ・消費者被害に関する相談（訪問販売・近隣とのトラブル・消費者被害疑いを含む）

イ その他、権利擁護事業に関する業務

- ・金沢区成年後見サポートネットワーク事業参加（年2回）
- ・成年後見申立の相談を受け、必要に応じて申し立てについて情報提供
- ・虐待防止従事者研修に参加、スキルアップ
- ・虐待に係る相談（疑い含む）について、区役所等と連携対応
- ・六浦地域ケアプラザと共催で地域の方を対象に成年後見制度、消費者被害、虐待についての講座を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため開催延期
- ・エンディングノートの説明、配布（2/25 介護予防講座と同時開催）
- ・介護者が孤立することを防ぐため、介護者のつどいを実施

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ア 担当エリア内のケアマネジャーからの相談件数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	20	12	13	9	17	11	10	8	2	8	7	4	121
令和2年度	13	12	9	10	15	10	8	2	7	7	8	14	115
増△減	7	0	4	△1	2	1	2	6	△5	1	△1	△10	6

・必要時エリア内外の居宅介護支援事業所を訪問し、区からの最新情報の提供・ケアプラン作成個別相談等行っている。

イ 事業等取り組みについて

《研修関係》

- ・金沢区役所、在宅医療相談室、区主任ケアマネ部会、保健師部会、社会福祉士部会、金沢ケアマネ倶楽部共済：病院の相談員と情報交換会
→新型コロナウイルス感染防止のため中止
- ・区主任ケアマネ部会南部地区共催：南部事例検討会参加（年1回）
- ・区主任ケアマネ部会南部地区共済：ケアマネ支援サロン参加（年1回）。昨年度撮影したDVD（テーマ：引きこもり）の上映
- ・横浜市主催：金沢区役所、区主任ケアマネジャー部会、保健師部会、社会福祉士部会共催：介護予防従事者研修開催

《その他》

ケアマネジャーからの相談については、面接や電話を中心に状況を確認し、必要に応じて同行訪問を行うことで問題や課題の早期解決に取り組みました。また、コロナ禍により変わる情報発信やケアマネジャーのメンタル支援等を行いました。

ウ サービス担当者会議・カンファレンス支援

単位：回

令和3年度	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度	0	0	1	2	2	1	0	0	2	0	0	2	10
増△減	0	0	△1	△2	△2	0	0	0	△2	0	0	△2	△9

- ・処遇困難事例ケースに関しては区・担当ケアマネジャーと協働で行う

④ 介護予防支援・日常生活支援総合事業

新型コロナウイルスの影響で、地域活動が停滞し、閉じこもりによる転倒や病気の重度化、介護保険申請者の増加などの弊害が出てきている中で、フレイル予防（虚弱予防）を意識した事業を地域の状況に合わせながら、地域ケアプラザや各町内会館で開催しました。また、歯科医師にご協力頂き、オーラルフレイルとコロナ情報を絡めたテーマでリーフレットを作成し、地域住民や事業所等へ配布したり、区役所と共催でオンラインを活用した講座も開催しました。

ア 介護予防普及啓発事業 ※以下、（ ）は開催日

- ・ロコモ予防講座「ロコモ予防は長寿の秘訣～今を元気に乗り切る身体づくり～」
（10/13・11/17）参加者 計15名
- ・栄養講座「コロナ疲れしていませんか？食事と運動で毎日が元気に」（6/10）
「ウイズコロナ 食事と運動でフレイル予防」（1/13）参加者 計26名
- ・秋月会「今を元気に楽しく暮らし続けるために！」（2/25）参加者 計14名
- ・尿失禁予防講座（9/16）参加者 11名
- ・ケア・ウォーキング講座（10/26・11/25）参加者 計13名
- ・歯科医師講座「健康づくりはお口から」参加者33名

- ・「手の汚れを調べてみませんか&体力チェック」参加者 6名
- イ 地域介護予防活動支援事業
 - ・元気づくりステーション
 - 「柳町 in コグニ」に対し、コロナ禍でも活動が継続できるようアドバイスをを行い、月1回開催を目指し、講師を招いたフォローアップ研修を行いました。
 - ・地域活動支援
 - 地域の老人会や活動グループに対し、必要に応じ情報提供やアドバイスをを行いました。
 - ・埋蔵資源発掘プロジェクト「レコード鑑賞会」 全10回 参加者 延べ72名

⑤ 指定介護予防支援事業

高齢者が、要支援・要介護状態になること、重度化をできるだけ予防できるよう、自身の力を活かした自立に向けた支援を行うように努めました。また新型コロナウイルスによる心身の機能低下を最小限に抑えられることを意識し、介護予防支援計画書を作成しました。委託先の居宅介護支援事業所への介護予防ケアプラン等に関する指導・助言、その他相談対応を継続しました。

ア 包括支援センター担当件数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	35	38	38	37	34	36	36	36	32	32	31	31	416
令和2年度	33	35	36	37	35	36	35	33	35	35	35	36	421
増△減	2	3	2	0	△1	0	1	3	△3	△3	△4	△5	△5

※包括支援センター担当件数…包括支援センターで作成したケアプラン件数

イ 委託件数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	108	110	112	114	116	123	124	125	129	130	124	127	1,442
令和2年度	97	100	103	102	106	108	107	107	105	99	102	101	1,237
増△減	11	10	9	12	10	15	17	18	24	31	22	26	205

※包括支援センター以外の居宅介護支援事業所に委託契約を行い、介護支援専門員が作成したケアプラン件数。

⑥ 地域ケア会議

地域の情報や課題を共有し、必要な支援体制の構築を図るために地域ケア会議を開催しました。8050問題の事例について地域ケア会議を1回実施しました。家族が民生委員や区役所にSOSを発信できたことで、支援につながった経緯や今の状況を関係機関で共有することで、支援者間の連携の大切さを再確認し、今後予測される見通しについて検討しました。区役所の生活支援課生活困窮制度担当者に今後必要と思われる支援についての情報を伝えてもらい、支援者間で周知する良い機会となりました。

(3) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

昨年度に行った地域に向けたアンケートの結果から、高齢の方でもスマートフォンを利用している方が増えてきていること、情報の取得もスマートフォンなどを利用しなければならないことが多くなってきていることから、地域活動・交流事業との共催で「スマホ教室」を3回シリーズで開催しました。

(ア) 地域との関係性の構築

- ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域で行われている行事やサロン、介護予防活動等の中止が続き、地域の方と接する機会は少なくなりました。しかし、六浦東地区ではコロナ禍で見守りの場所が無くなってしまったからこそ始まったボランティア団体の活動があり、ケアプラザの広報紙で活動を紹介すること等で後方支援を行いました。
- ・コロナ禍であっても、感染防止対策をとりながら活動を続けていた六浦連合町内会で開催されているレコード鑑賞会については、地域活動・交流コーディネーター、地域包括支援センター職員等と協力しながらチラシの作成などの後方支援を継続して行いました。

(イ) 地域活動団体のネットワーク構築

- ・毎月1回開催されている「六浦ボランティアネットワーク」の定例会は感染防止を講じながら、今年度は4月から毎月開催されました。合計9回参加し、地域で必要とされているインフォーマルサービス等についての情報の共有を続けています。

(ウ) 新たな担い手の発掘

- ・コロナ禍で、繋がることの必要性を改めて認識したことがきっかけで、令和3年度から六浦地域ケアプラザ生活支援コーディネーターとの共催事業で気軽におしゃべりできる居場所「サードプレイス」を開催しています。集まっておしゃべりをするのが制限されるなか、オンラインを活用し、気兼ねなく意見交換が出来る新しい生活様式での居場所をつくり、今年度は計15回開催し、延べ75人の方に参加していただきました。今年度から進行役やオンラインの準備などを参加される方に少しずつお願いをし、趣味や仕事で培った特技を活かしていただきました。
- ・「サードプレイス」で参加される方と話をする中で、外出する機会が無くなり運動不足になっているという意見が多くあり、屋外でできるウォーキングであれば開催できるのではないかと、企画から準備、開催までを立候補していただいた参加者と一緒に9月から11月にかけて準備を進め、ウォーキングを実施しました。このウォーキングをきっかけに、今後も企画から関わった参加者が中心となって年に2回開催していく予定です。

（４） 指定居宅介護支援事業

利用者やご家族のコロナ感染は散見されましたが、それほど大事に至らず、回復されています。お一人のみ入院となり、入院中に身体機能が低下、今後は老人保健施設に入所予定です。ご自宅に戻れるかどうかは未定となっています。

利用者数に関しては、新規契約に積極的に対応したものの、それを上回る人数が終了となっており、ケアプラン作成数は減少しています。認定調査件数は「有効期間 3 年間」が開始されてからの 3 年目、ということで昨年より大幅に増えています。しかし、令和 3 年度より「最長有効期間 4 年間」が開始となっているため、今後件数は減少が見込まれます。

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年を間近に控えた今、ひとり一人の利用者に寄り添い、自分の人生を全うできる支援を継続して行っています。

ア 居宅事業ケアプラン作成数

介護ケアプラン作成数（要介護 1～要介護 5 判定の方）

単位：件

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	102	104	107	107	105	103	101	101	98	93	96	94	1,211
令和2年度	106	110	112	112	107	105	113	102	104	101	100	106	1,278
増減	△ 4	△ 6	△ 5	△ 5	△ 2	△ 2	△ 12	△ 1	△ 6	△ 8	△ 4	△ 12	△ 67

介護予防ケアプラン作成数（要支援 1～要支援 2 判定の方）

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	25	26	28	26	27	28	28	26	28	28	28	30	328
令和2年度	29	27	28	28	28	29	29	27	26	27	26	26	330
増減	△ 4	△ 1	0	△ 2	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	2	1	2	4	△ 2

※常勤換算でケアマネジャー 1 人当たりの件数限度は介護・予防合わせて 39 件

※現在の常勤換算では、1 か月あたり 148 件が上限

※特定事業所加算Ⅲ（1 件当たり 3,336 円）は介護ケアプランのみ算定

イ 契約者数（令和 4 年 3 月 31 日現在）

単位：人

	契約者数		内新規契約者数		終了者数	
	介護	予防	介護	予防	介護	予防
令和3年度	98	33	41	12	48	6
令和2年度	107	28	40	5	40	12
前年度比	△ 9	5	1	7	8	△ 6

ウ 金沢区等委託契約による介護認定調査件数（区との契約数は年間 130 件）

	令和3年度	令和2年度	前年度比
件数	73	51	22
含区外件数	2	0	2

(5) デイサービス事業（指定通所介護事業・認知症対応型通所介護事業）

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながらも、ご利用者の皆様が楽しんでいただけるような活動や季節のイベントを企画、実施いたしました。令和3年度初めから利用者数は大幅に増えましたが、令和3年度後半からは新型コロナウイルスの影響を強く受け、前半に比べ減少傾向にありました。コロナ影響を受けつつも年間延べ利用者数は昨年度に続き開所以来最高となりました。

開館日数：359日

<サービス内容>

ア 季節ごとの行事

コロナ禍でも感染防止対策をとりながら、季節の行事や食のイベントを実施し、ご利用者の皆様が意欲的に参加でき楽しみになるように努めました。

春：送迎時に車内からの花見、じゃがバター大会

夏：すいか割り、かき氷、アイスクリーム

秋：敬老会（地域の和菓子の提供）、さんま祭り、焼き芋大会

冬：クリスマス会（クリスマスメニューの提供）

※コロナ禍のため、コーラスや踊りなどのボランティアを呼ぶ行事は控えました。

イ 個性のあるグループ活動

令和3年度も感染防止対策をとりながら既存のサークル（書道、川柳、園芸、カラオケ）、教室（珈琲、体操、絵手紙）、趣味活動（麻雀、将棋、制作、歩行訓練）を定期的に実施し利用者が意欲をもって活動に参加できるように取り組みました。

ウ 保育園児・小中学校との交流

令和3年度は感染防止対策のため、交流を中止としました。

エ 運動器向上・個別機能訓練

加算算定者に対し、機能訓練指導員がそれぞれのご利用者の目標に対して機能訓練計画を作成し、運動機能の維持・向上を目標に機能訓練を実施しました。

オ 施設内外の歩行訓練

コロナ禍による運動不足予防のため施設周囲での歩行訓練（雨天時は施設内の階段昇降）を希望者に対して少人数ごとに回数を分けて実施しました。

カ 食事

日々、検食を通して味付け・量・色合いなどの評価を行い、また、ご利用者の皆様声の聞き取りを行い、給食会議等で委託業者と話し合い毎日のお食事を美味しく召し上がっていただけるように努めました。月一回、各都道府県の郷土料理の提供や特別感のあるメニューも多く取り入れ皆様から好評でした。『今度はどこの郷土料理だろう？』と楽しみにされる声も多く聞かれました。

キ 避難訓練

年に2回の施設内での避難訓練（大地震・水害、火災）の他、地域の避難訓練に参加

し、連携の強化に努めました。

通所介護事業・介護度別利用状況（令和３年４月～令和４年３月）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援１	32	37	34	30	30	38	35	30	35	35	32	48	416	356	59
要支援２	86	92	83	90	89	88	92	95	101	106	92	106	1,120	1,144	△ 24
要介護１	214	234	242	246	227	232	224	205	205	208	198	216	2,651	2,160	491
要介護２	271	252	243	246	269	270	286	253	215	200	177	222	2,904	3,293	△ 389
要介護３	105	124	124	143	143	136	147	149	122	141	130	134	1,598	1,051	547
要介護４	122	101	93	78	59	62	60	40	34	39	36	47	771	877	△ 106
要介護５	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	20	74	△ 54
総数	834	845	819	833	817	826	844	772	712	729	665	784	9,480	8,955	525
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359	359	0
平均利用者数/日	27.8	27.3	27.3	26.9	26.4	27.5	27.2	25.7	25.4	26.0	23.8	25.3	26.4	24.9	1.5

② 認知症対応型通所介護 かがやき

総利用者数は増加しましたが、令和２年度よりも新型コロナウイルスの影響で欠席される方が多い年となりました。そのため、感染防止対策を行い、制限のある中でも、楽しいと感じていただけるようなプログラムを企画・実施しました。

ご家族には連絡帳に写真を貼り日々のご様子や活動内容をお伝えし、ケアマネジャーにも電話やモニタリングで、細かい状態の変化や言動を報告し安心してご利用できる環境作りを行いました。

開館日数：359日

<サービス内容>

ア 活動

コロナ感染防止のため、消毒できる道具、物を使ったゲーム（玉入れ、パターゴルフ等）を中心に行い、また、筋力の低下防止、気分転換に屋外歩行訓練や園芸活動に力を入れました。

イ 運営推進会議

新型コロナウイルス感染が増加傾向にあった時期となったため、９月と３月の年２回行っている運営推進会議は書面報告としました。地域にお住まいの方や、施設の方、ご家族にはアンケートにて意見や質問など記入を依頼し、コロナ関係や、近隣の交通事情等の情報を教えていただき、今後の参考とさせていただきました。

ウ 季節

通所介護と連携し、コロナウイルス感染防止対策を行いながらできるイベントとして、令和２年度に企画、実施し好評だったイベント、スイカ割り、サンマ祭り、焼き

芋大会を行いました。敬老会、クリスマス会は職員が心を込めておもてなしをし、地域の和菓子屋で購入したお菓子でお祝いをさせていただきました。

認知症対応型通所介護事業利用状況（令和３年４月～令和４年３月）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援１	0	0	0	0	4	4	5	4	4	4	4	4	33	12	21
要支援２	9	9	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	97	△ 71
要介護１	53	53	46	54	55	57	63	58	56	67	70	78	710	516	194
要介護２	58	59	57	62	52	44	64	44	41	27	23	32	563	634	△ 71
要介護３	77	76	78	51	51	64	62	68	56	56	52	49	740	784	△ 44
要介護４	54	56	45	62	55	59	61	60	49	43	46	46	636	556	80
要介護５	10	12	12	9	15	11	6	9	10	15	11	10	130	72	58
総数	261	265	246	238	232	239	261	243	216	212	206	219	2838	2663	175
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359	359	0
平均利用者数/日	8.7	8.5	8.2	7.7	7.5	8.0	8.4	8.1	7.7	7.6	7.4	7.1	7.9	6.8	1.1

２ 職員研修（人材育成）

内部研修（法人・柳町地域ケアプラザ）

研修名	参加人数
介護現場のリスクマネジメント	18人
プライバシー保護	31人
倫理法令順守の理解	18人
身体拘束を行ってはいけない理由	22人
認知症ケアの専門性を理解する	28人
発電機の取扱い研修	15人
AED操作及び緊急時通報研修	31人
感染症の予防と蔓延防止	26人
嘔吐物の処理方法、嘔吐物処理用緊急袋の確認	28人
事故防止について（事故報告書の書き方等）	28人
腰痛予防対策と腰を痛めない介助法	27人

※ 映像視聴による研修

外部研修

研修名	参加人数
各種専門研修	46人

3 苦情

(1) 苦情受付件数 1 件（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

(2) 内容

単位：件

苦情の内容	3年度	2年度
① 虐待・放置・脅迫・搾取に関する事	0	0
② サービス・支援内容に関する事	1	0
③ 個人の嗜好・選択に関する事	0	0
④ 利用者の所持金等に関する事	0	0
⑤ その他	0	0
計	1	0

(別紙) 地域活動・交流事業 実施状況

① 支えあい連絡会の開催

	開催数(回)	参加人数(人)	テーマ・内容詳細等
令和3年度	0	0	
令和2年度	1	20	地域ケア会議と合同。引きこもり啓発について。

② 広報紙及びチラシの発行

	広報紙	チラシ	配布先
令和3年度	4回	29回	来館者・各町内会・関連機関に配布
令和2年度	4回	23回	

③ 貸館状況

(単位：件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和3 合計	令和2 合計
多目的	午前	18	18	20	19	19	14	15	16	18	18	14	15	450	327
	午後1	9	13	11	16	18	9	13	12	11	12	6	8		
	午後2	3	8	7	9	12	4	8	7	3	5	3	5		
	夜間	4	2	3	4	3	3	3	3	3	2	1	3		
調理室	午前	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	1	44	32
	午後1	1	2	2	2	1	1	2	3	3	2	2	1		
	午後2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ボラ	午前	11	6	13	6	9	6	10	7	9	7	7	7	234	178
	午後1	6	3	7	6	4	6	9	7	5	7	7	6		
	午後2	2	3	2	2	3	6	7	5	1	5	4	4		
	夜間	2	3	3	3	2	3	0	3	0	0	0	0		
地域	午前	1	0	1	1	3	0	0	1	1	0	1	0	33	31
	午後1	1	0	0	0	2	0	0	2	1	1	2	3		
	午後2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0		
	夜間	9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
合 計		69	60	71	70	78	53	69	70	57	61	50	53	761	568

稼働率

(単位：%)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和3 合計	令和2 合計
多目的	午前	62	95	95	100	95	74	75	84	95	95	82	71	84	62
	午後1	31	68	52	84	90	47	65	63	58	63	35	38	57	54
	午後2	10	42	33	47	60	21	40	37	16	26	18	24	31	32
	夜間	20	11	14	21	15	16	15	16	16	11	6	14	15	60
調理室	午前	7	11	10	11	5	5	10	11	11	11	12	5	9	9
	午後1	3	11	10	11	5	5	10	16	16	11	12	5	9	7
	午後2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボラ	午前	38	32	62	32	45	32	50	37	47	37	41	33	40	29
	午後1	21	16	33	32	20	32	45	37	26	37	41	29	30	16
	午後2	7	16	10	11	15	32	35	26	5	26	24	19	18	34
	夜間	10	16	14	16	10	16	0	16	0	0	0	0	8	38
地域	午前	3	0	5	5	15	0	0	5	5	0	6	0	4	5
	午後1	3	0	0	0	10	0	0	11	5	5	12	14	5	5
	午後2	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	0	0	1	5
	夜間	45	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	4	2

※ 多目的：多目的ホール ボラ：ボランティアルーム 地域：地域ケアルーム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和3 合計	令和2 合計
利用人数(単位：人)	309	348	400	412	430	289	394	359	333	296	215	248	4033	2789

④自主事業実施状況（令和３年４月～令和４年３月）

	事業年度	開催数	延参加者数	内 容
高齢者支援	令和3	12	163	フラワーアレンジメント
	令和2	10	148	フラワーアレンジメント
	前年比	2	15	
子育て支援	令和3	12	67	あかちゃんといっしょ
	令和2	9	14	あかちゃんといっしょ
	前年比	3	53	
障がい児者支援	令和3	11	58	おひさま広場、3ヶアプラザ共催余暇支援
	令和2	10	68	おひさま広場、秋のイベント
	前年比	1	△ 10	
小学生向け	令和3	2	32	夏休みこども企画
	令和2	0	0	
多世代交流 （小学生・高齢者）	令和3	0	0	
	令和2	0	0	
	前年比	0	0	
地域交流	令和3	19	135	金沢区の歴史を学ぶ会、小物作り、布ぞうり講座、お正月飾り
	令和2	17	109	金沢区の歴史を学ぶ会、小物作り、布ぞうり講座、お正月飾り
	前年比	2	26	
健康作り	令和3	2	31	てくてく金沢
	令和2	1	14	てくてく金沢
	前年比	1	17	
福祉チャレンジ事業 ・車椅子介助体験 ・視覚障害者誘導介助体験 ・手話体験 ・点字体験	令和3	0	0	
	令和2	0	0	
	前年比	0	0	六浦中学校2年生高齢者疑似体験
福祉体験授業	令和3	0	0	
	令和2	0	0	
	前年比	0	0	認知症サポーター養成講座
福祉保健、健康、暮らし	令和3	3	54	スマートフォン講座
	令和2	0	0	
	前年比	3	54	
ボランティア育成	令和3	1	25	大学生対象ボランティア育成講座
	令和2	0	0	大学生対象ボランティア育成講座
	前年比	1	25	
出張講座等	令和3	0	0	
	令和2	0	0	
	前年比	0	0	
サロン	令和3	12	84	おしゃべりカフェ
	令和2	7	57	おしゃべりカフェ
	前年比	5	27	
合 計	令和3	74	649	
	令和2	54	410	
	前年比	20	239	

※共催及び後援事業を含む

法人単位資金収支計算書
(自) 令和 3年 4月 1日(至) 令和 4年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	444,542,494	430,238,387	14,304,107	
	就労支援事業収入	23,200,000	18,225,548	4,974,452	
	障害福祉サービス等事業収入	1,342,198,006	1,333,843,075	8,354,931	
	借入金利息補助金収入	198,720	198,720	0	
	経常経費寄附金収入	450,000	750,000	△ 300,000	
	受取利息配当金収入	54,476	5,794	48,682	
	その他の収入	21,680,178	19,962,771	1,717,407	
	事業活動収入計(1)	1,832,323,874	1,803,224,295	29,099,579	
	支出				
施設整備等による収支	収入				
	人件費支出	1,345,799,660	1,329,679,085	16,120,575	
	事業費支出	224,718,584	223,345,227	1,373,357	
	事務費支出	203,754,440	198,357,456	5,396,984	
	就労支援事業支出	22,720,000	20,368,098	2,351,902	
	支払利息支出	198,720	198,720	0	
	その他の支出	8,948,000	6,697,030	2,250,970	
	事業活動支出計(2)	1,806,139,404	1,778,645,616	27,493,788	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	26,184,470	24,578,679	1,605,791	
	収入				
その他の活動による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	3,735,000	3,735,000	0	
	固定資産売却収入	2,240,000	2,242,000	△ 2,000	
	施設整備等収入計(4)	5,975,000	5,977,000	△ 2,000	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	5,780,000	5,780,000	0	
	固定資産取得支出	122,091,610	121,281,926	809,684	
	施設整備等支出計(5)	127,871,610	127,061,926	809,684	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 121,896,610	△ 121,084,926	△ 811,684	
	収入				
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	120,200,000	122,588,845	△ 2,388,845	
	その他の活動による収入		124,181	△ 124,181	
	その他の活動収入計(7)	120,200,000	122,713,026	△ 2,513,026	
	支出				
	積立資産支出	12,350,400	11,473,705	876,695	
	その他の活動による支出		1,050,100	△ 1,050,100	
	その他の活動支出計(8)	12,350,400	12,523,805	△ 173,405	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	107,849,600	110,189,221	△ 2,339,621	
	予備費支出(10)		—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		12,137,460	13,682,974	△ 1,545,514	
前期末支払資金残高(12)		616,419,661	616,419,661	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		628,557,121	630,102,635	△ 1,545,514	

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	430,238,387	440,119,958	△ 9,881,571
	就労支援事業収益	18,225,548	18,333,014	△ 107,466
	障害福祉サービス等事業収益	1,333,843,075	1,280,476,653	53,366,422
	経常経費寄附金収益	750,000	10,601,758	△ 9,851,758
	サービス活動収益計(1)	1,783,057,010	1,749,531,383	33,525,627
	費用			
	人件費	1,327,089,240	1,299,393,575	27,695,665
	事業費	223,345,227	218,006,476	5,338,751
	事務費	198,357,456	179,719,076	18,638,380
サービス活動外増減の部	就労支援事業費用	20,595,912	18,279,857	2,316,055
	減価償却費	69,051,968	69,116,870	△ 64,902
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 48,977,690	△ 49,673,268	695,578
	サービス活動費用計(2)	1,789,462,113	1,734,842,586	54,619,527
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 6,405,103	14,688,797	△ 21,093,900
	収益			
	借入金利息補助金収益	198,720	220,800	△ 22,080
	受取利息配当金収益	5,794	6,118	△ 324
	その他のサービス活動外収益	19,962,771	28,404,491	△ 8,441,720
	サービス活動外収益計(4)	20,167,285	28,631,409	△ 8,464,124
特別増減の部	費用			
	支払利息	198,720	220,800	△ 22,080
	その他のサービス活動外費用	6,697,030	6,749,900	△ 52,870
	サービス活動外費用計(5)	6,895,750	6,970,700	△ 74,950
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	13,271,535	21,660,709	△ 8,389,174
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	6,866,432	36,349,506	△ 29,483,074
	収益			
	施設整備等補助金収益	3,735,000	3,735,000	0
	固定資産売却益	1,998	1,998	0
	特別収益計(8)	3,736,998	3,736,998	0
	費用			
繰越活動増減差額の部	固定資産売却損・処分損	99,218	11	99,207
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△ 3	3
	国庫補助金等特別積立金積立額	3,735,000	5,232,750	△ 1,497,750
	特別費用計(9)	3,834,218	5,232,758	△ 1,398,540
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 97,220	△ 1,495,760	1,398,540
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,769,212	34,853,746	△ 28,084,534
	前期繰越活動増減差額(12)	715,504,539	689,249,098	26,255,441
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	722,273,751	724,102,844	△ 1,829,093
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)	119,999,000	2,280,740	117,718,260
	その他の積立金積立額(16)	11,473,705	10,879,045	594,660
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	830,799,046	715,504,539	115,294,507

法人単位貸借対照表
令和 4年 3月31日現在

第三号第一様式

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	698,768,368	681,049,738	17,718,630	流動負債	73,182,178	68,918,708	4,263,470
現金預金	434,621,837	410,943,647	23,678,190	事業未払金	49,362,160	45,866,464	3,495,696
事業未収金	240,818,592	238,317,259	2,501,333	1年以内返済予定設備資金借入金	5,780,000	5,780,000	0
未収金	686,511	447,041	239,470	預り金	57,498	36,364	21,134
貯蔵品	885,780	787,832	97,948	職員預り金	12,678,628	12,032,794	645,834
商品・製品	500,290		500,290	前受金	2,599,654	2,386,826	212,828
原材料	763,265	1,491,369	△ 728,104	仮受金	2,704,238	2,816,260	△ 112,022
立替金	5,317,457	6,554,070	△ 1,236,613				
前払金	0	1,179,860	△ 1,179,860				
前払費用	15,144,636	21,298,660	△ 6,154,024				
その他の流動資産	30,000	30,000	0				
固定資産	1,226,122,892	1,284,852,575	△ 58,729,683	固定負債	127,307,545	122,634,885	4,672,660
基本財産	1,022,968,455	963,459,272	59,509,183	設備資金借入金	28,460,000	34,240,000	△ 5,780,000
建物	1,022,968,455	963,459,272	59,509,183	退職給付引当金	98,847,545	88,394,885	10,452,660
その他の固定資産	203,154,437	321,393,303	△ 118,238,866	負債の部合計	200,489,723	191,553,593	8,936,130
建物	42,933,115	47,037,011	△ 4,103,896	純資産の部			
構築物	5,635,484	5,628,676	6,808	基本金	58,506,000	58,506,000	0
車輛運搬具	2,882,408	5,054,572	△ 2,172,164	第1号基本金	58,506,000	58,506,000	0
器具及び備品	18,692,205	22,216,853	△ 3,524,648	国庫補助金等特別積立金	824,732,090	869,974,780	△ 45,242,690
権利	20,042,893	21,304,522	△ 1,261,629	その他の積立金	10,364,401	130,363,401	△ 119,999,000
ソフトウェア	2,733,447	1,296,363	1,437,084	修繕積立金	10,364,401	130,363,401	△ 119,999,000
退職給付引当資産	98,847,545	88,394,885	10,452,660	次期繰越活動増減差額	830,799,046	715,504,539	115,294,507
修繕積立資産	10,364,401	130,363,401	△ 119,999,000	(うち当期活動増減差額)	6,769,212	34,853,746	△ 28,084,534
長期前払費用	1,022,939	97,020	925,919	純資産の部合計	1,724,401,537	1,774,348,720	△ 49,947,183
資産の部合計	1,924,891,260	1,965,902,313	△ 41,011,053	負債及び純資産の部合計	1,924,891,260	1,965,902,313	△ 41,011,053